

# 地域看護の ソーシャル イノベーション

—地域社会の包容力を高める看護の挑戦—

## 日本地域看護学会第27回学術集会 プログラム集

会期

現地開催 2024年 6月29日(土) 30日(日)

Web開催 ~ 8月31日

会場

**AER** 5~6F 仙台市中小企業活性化センター  
(アエル) 21F TKPガーデンシティ仙台

宮城県仙台市青葉区中央1丁目3-1 (JR仙台駅よりペDESTリアンデッキ直結 徒歩2分)

学術集会長

**大森 純子**

東北大学大学院医学系研究科 教授

副学術集会長

**浦山 美輪**

東北大学病院 副院長・看護部長

# ご挨拶

## 地域看護のソーシャルイノベーションー地域社会の包容力を高める看護の挑戦ー

日本地域看護学会第27回学術集会は 2024 年6月29日から8月末日まで杜の都・仙台発信のハイブリッドで開催します。東北地方初開催となる学術集会のメインテーマは、『地域看護のソーシャルイノベーションー地域社会の包容力を高める看護の挑戦ー』を掲げます。

現在、最先端技術をあらゆる社会生活に取り入れ、新たな価値を創造し、誰もが快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることができる人間中心の未来社会 Society5.0 構想が動き出しています。目指すのは、年齢や障害を問わず社会参加を可能にし、少子高齢化や過疎化の地域課題の克服に挑む社会の変革(ソーシャルイノベーション)を通じ、誰もが希望を持てる社会、世代を超えて互いに尊重しあえる社会、一人一人が快適に活躍できる社会の実現です。

イノベーションには、物事の新しい見方や捉え方、新たな視点の入れ方や思考の切り口をさす新機軸と、新しいアイデアや技術から社会的意義や価値を生み出す活動の二つの意味があります。人々の生活の質を支える地域看護は、どのような新機軸をもち、どのような社会的意義や新たな価値を生み出す活動を展開できるのか。未来志向で議論する時機です。最先端技術を活用し、人間中心の包摂的コミュニティの時代を牽引できるか、私たち地域看護のソーシャルイノベーションにかかっています。

人口減少・超高齢少子社会の先進地域、東北地方では、急速に進む過疎化や自治組織の終活など人々の生活の質にかかわる課題に住民と共に向き合い、新しい考え方や発想を基に新たな意義や価値を創出する活動が展開されています。第 27 回学術集会では、一般演題126題、ワークショップ9題を迎え、地域社会の包容力を高める看護の挑戦について議論します。1日目は地域看護の新機軸と諸活動を共有し、2日目はオンラインセッション(ラウンドテーブル式口演)に集い参加者間で意見交換します。

参加者間の学び合いがそれぞれの立場で実践、教育、研究を推進する熱量となり、個人の気づきや閃きが連鎖して地域看護学の新たな価値創造の活動を生み出す“地域看護のソーシャルイノベーション”の原動力になることを祈念します。なお、本会では多様性の尊重や未来志向の体現をねらい、公私に多忙な方々にも参加しやすいオンラインを併用し、若手座長を中心に参加型で2日間のプログラムを進行します。8月までの2ヵ月間、何度でも WEB サイトを訪れ、学際交流を満喫していただければ幸いです。

本会の開催にあたり、趣意にご賛同いただいた行政、職能団体、企業等法人、ならびに賛同者の方々より、多くのご支援を賜りました。ご後援と協賛に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

### 日本地域看護学会第27回学術集会

学術集会長 大森 純子 (東北大学大学院医学系研究科 教授)

副学術集会長 浦山 美輪 (東北大学病院 副院長・看護部長)

事務局 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野 教職員一同



第1日目 6月29日(土)

日本地域看護学会 第27回学術集会  
会場：AER(アエル)

仙台市中小企業活性化センター

	5階	6階		
	第1会場 多目的ホール	第2会場 セミナールーム2A	第3会場 セミナールーム2B	第4会場 セミナールーム1
9:00				
10:00	9:40~10:00 <b>開会式</b>			
	10:00~10:30 <b>学術集会長講演</b> 地域看護のソーシャルイノベーション -地域社会の包容力を高める看護の挑戦-			
11:00	10:35~11:25 <b>基調講演 1</b> 地域看護のソーシャル イノベーションを掲げて ~地域看護の未来と可能性			
12:00	11:30~12:20 <b>基調講演 2</b> 地元を根を張る地域看護			
13:00	12:30~13:20 <b>会員報告会・表彰式</b>			
14:00	13:30~14:50 <b>理事会企画セミナー</b> 地域看護学・公衆衛生看護学・ 在宅看護学の看護基礎教育の 今後に向けて： 地域看護関連合同委員会より			
15:00	15:00~16:30 <b>特別鼎談</b> 地域社会と共に変革する看護	15:10~16:30 <b>ワークショップ 2-1</b> プレイバックシアター× ヘルスヒューマニティズ×地域看護 -互いのストーリーから学びあう共感性あ るコミュニティづくりを目指して-	15:20~16:40 <b>ワークショップ 3-1</b> 看護基礎教育における ダブルケアラー支援の教育 医療専門職による育児と介護の ダブルケアラー支援団体 DC NETWORKと一緒に考える	15:00~20:30 <b>学術交流 茶話会</b>
16:00				15:00~17:00 銘菓アワー
17:00	16:40~18:10 <b>シンポジウム</b> 地域社会の未来を変える看護 -その人らしい育ち・子育てを 応援するソーシャルキャピタル-	16:50~18:10 <b>ワークショップ 2-2</b> 在宅生活支援のための事例検討会 における見取り図活用の提案 事例検討会を体験してみよう!	17:00~18:20 <b>ワークショップ 3-2</b> 「人々を惹きつける」 保健師×AIの特定保健指導 システムと一緒に考えよう	17:00~19:30 軽食アワー
18:00				19:30~20:30 名酒アワー
19:00	18:20~19:55 <b>リレートーク</b> 地域社会の変容を起こす看護 -鶴ヶ谷地区における地区保健活動と それを包摂する地区住民の活動-	18:30~19:50 <b>ワークショップ 2-3</b> 認知症高齢者の生活支援って どうしていますか? ~地域包括支援センター保健師職の 交流会活動を通して~	18:40~19:40 <b>拡大編集委員会</b>	
20:00				

TKP ガーデンシティ仙台

21階

	第5会場 ホール 21A	第6会場 ホール 21B	第7会場 ホール 21C	第8会場 ホール 21D
9:00				
10:00				
11:00				
12:00				
13:00	13:00~14:00 <b>教育講演 1</b> 住民の生活を支える看護拠点 ~看護小規模多機能型居宅介護の 現状と事例紹介~	13:25~14:45 <b>オンラインワークショップ</b> 地域看護における人材育成や 組織マネジメント力を高めること について語り合おう ~現職者による大学院での学びを通して~	13:30~19:55  <b>第1会場 サテライト会場</b>	13:05~14:05 <b>研究セミナー-1</b> 疫学研究×地域看護 エビデンスに基づくヘルスケアを目指して
14:00	14:10~15:10 <b>教育講演 2</b> 住民と育てる地域医療マインド			14:15~15:15 <b>研究セミナー-2</b> AI情報科学×地域看護 地域医療とAI - AIが地域医療に貢献できること
15:00	15:20~16:20 <b>教育講演 3</b> 住民と共に歩む復興の道のり	15:00~16:20 <b>次世代育成推進委員会 ワークショップ</b> 「引き出しあい、つながる場」 ~こんなことやってみたいを 共有しませんか?~		15:25~16:25 <b>研究セミナー-3</b> ロボット工学×地域看護 共創する未来: 福祉ロボットと地域看護のシナジー
16:00	16:30~17:30 <b>教育講演 4</b> 多文化共生を叶える文化的能力	16:40~18:00 <b>実践促進委員会 ワークショップ</b> 当事者×実践者×研究者= みんなで作る質の高い実践!		16:35~17:35 <b>教育講演 6</b> 地域ケアを司る 訪問看護の人材育成
17:00	17:40~18:40 <b>教育講演 5</b> 地域ケアを支える 地元ナースの養成	18:20~19:40 <b>健康危機支援委員会 ワークショップ</b> 復旧・復興の過程で生じる 移動と地域社会とのつながり ~能登半島地震を対象に GIS(地理情報システム)を用いて~		
18:00				
19:00				
20:00				



仙台市中小企業活性化センター

	5階	6階		
	第1会場 多目的ホール	第2会場 セミナールーム2A	第3会場 セミナールーム2B	第4会場 セミナールーム1
9:00				
10:00	10:00~10:50 □演第1群(オンライン・セッション) 看護管理・人材育成・キャリア支援1	10:00~10:50 □演第2群(オンライン・セッション) 地域包括ケア・協働・連携	10:00~10:50 □演第3群(オンライン・セッション) 在宅ケア・在宅移行支援	10:00~10:50 □演第4群(オンライン・セッション) 高齢者保健・介護予防1
11:00	11:00~11:40 □演第5群(オンライン・セッション) 看護管理・人材育成・キャリア支援2	11:00~11:50 □演第6群(オンライン・セッション) 地域づくり・ソーシャルキャピタル	11:00~11:50 □演第7群(オンライン・セッション) 訪問看護・ケアマネジメント	11:00~11:40 □演第8群(オンライン・セッション) 高齢者保健・介護予防2
12:00				
13:00	13:00~13:40 □演第9群(オンライン・セッション) 看護管理・人材育成・キャリア支援3	13:00~13:50 □演第10群(オンライン・セッション) 地域包括ケア・協働・連携/ 地域づくり・ソーシャルキャピタル		13:00~13:40 □演第11群(オンライン・セッション) 障害児・者支援
14:00	14:00~14:40 □演第12群(オンライン・セッション) 精神保健・看護	14:00~14:50 □演第13群(オンライン・セッション) 産業保健・職域保健/ 健康づくり・ヘルスプロモーション		14:00~14:50 □演第14群(オンライン・セッション) 子育て支援・虐待予防
15:00	15:00~15:50 □演第15群(オンライン・セッション) 健康危機管理	15:00~15:50 □演第16群(オンライン・セッション) 健康づくり・ヘルスプロモーション		15:00~15:40 □演第17群(オンライン・セッション) 思春期保健・学校保健
16:00	16:00~16:30 閉会式・優秀演題表彰式			
17:00				
18:00	<p><b>一般演題 □演(オンライン・セッション)の進行について</b></p> <p>発表は1演題8分、質疑(演題群の全発表終了後、全体ディスカッション)は15分です。</p> <p>※ 一般演題 □演(オンライン・セッション)は座長、発表者、参加者がオンライン上(Zoom)に集うセッションです。</p> <p>※ 質疑(ディスカッション)では発表への質問・対応に加え、その領域の発展につながるような意見交換を行います。</p> <p>※ 発表のみ後日オンデマンド配信します。質疑(ディスカッション)のオンデマンド配信はありません。</p>			
19:00	<p><b>一般演題 □演(オンライン・セッション)のパブリックビューイングについて</b></p> <p>仙台市中小企業活性化センターをパブリックビューイング会場とします。</p> <p>※ 会場スペースに限りがありますので、できるだけ現地には来場せず、別所からオンラインでのご参加をお勧めします。</p>			
20:00				

# 現地会場へのアクセス

## 仙台市中小企業活性化センター および TKP ガーデンシティ仙台

AER(アエル)【5～6F】 および【21F】  
〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央 1-3-1

### <アクセス>

JR 仙台駅西口 2F 出口より徒歩2分 (ペDESTリアンデッキにて直結)

地下鉄東西線・南北線 仙台駅北7または北8出口より徒歩3分

TKP ガーデンシティ仙台 アクセスページ

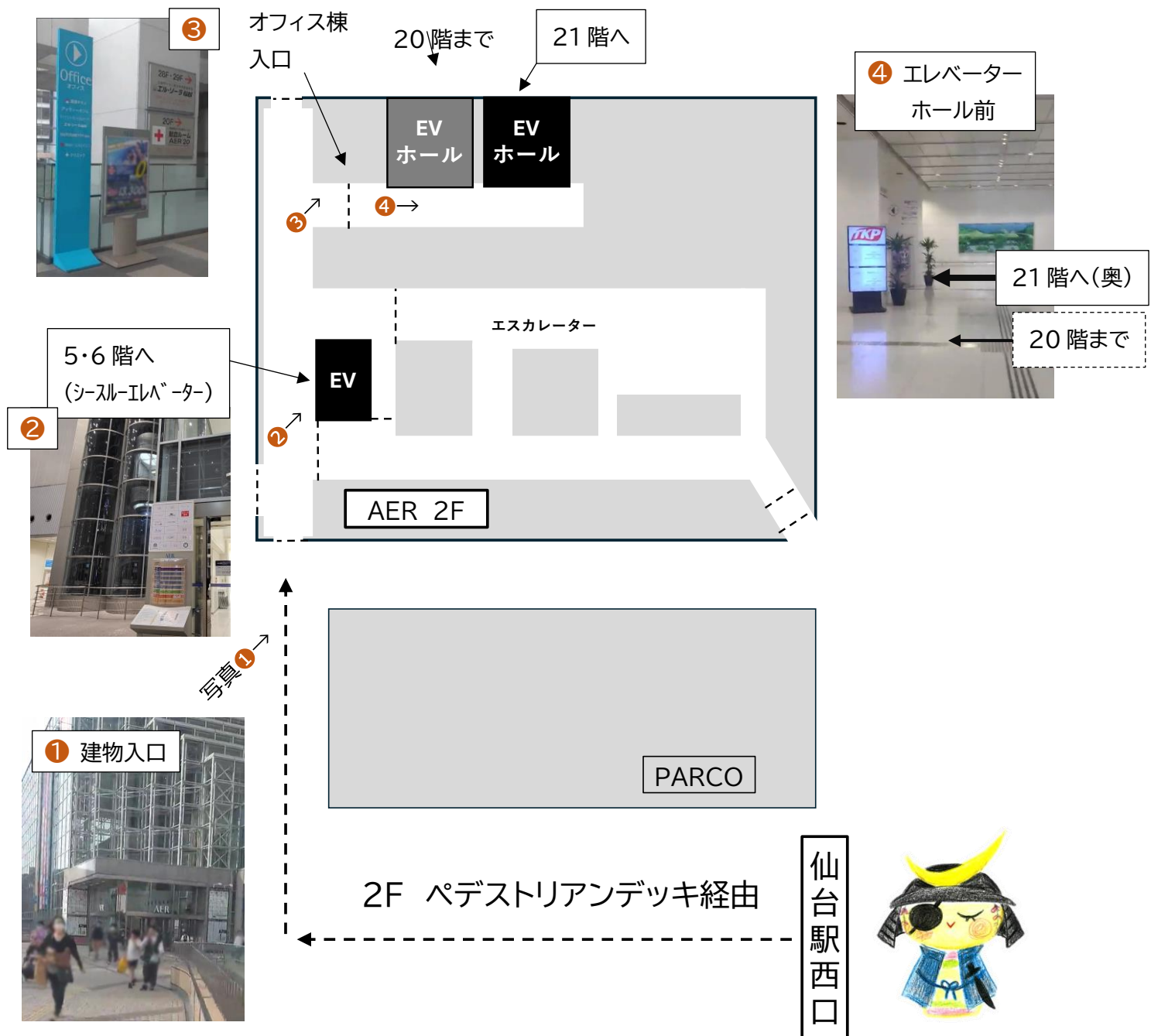
<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gc-sendai/access/>



仙台駅西口を出て右側、PARCO の奥にある、近隣で最も背の高い建物です  
当日の受付、および第1会場は AER 5階 です



仙台駅周辺には「TKP」が複数ありますが、AER 内の  
TKP ガーデンシティ仙台が会場となりますので、ご注意ください。



5・6階へ移動する際は、商業施設入口付近のシスルーエレベーターをご利用ください。  
21階へ移動する際は、オフィス棟の奥のエレベーターをご利用ください。

### ● 5・6階から21階の移動／21階から5・6階への移動

2階に戻り、2階から目的のフロアへ移動してください。

<その他の移動方法>

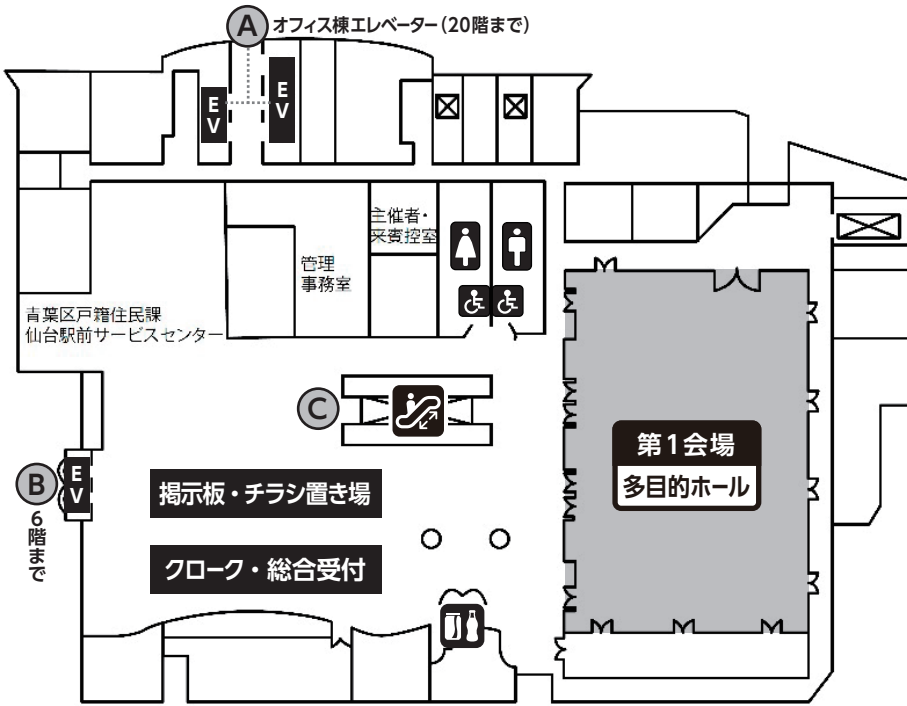
- ・ 5・6階から21階の移動

5・6階からオフィス棟のエレベーターに乗ることもできますが、20階で乗り換えが必要になります。

- ・ 21階から5・6階への移動

21階から20階へ階段やエレベーターで移動したあと、20階のエレベーターで5・6階へ移動することもできます。

# 会場配置図

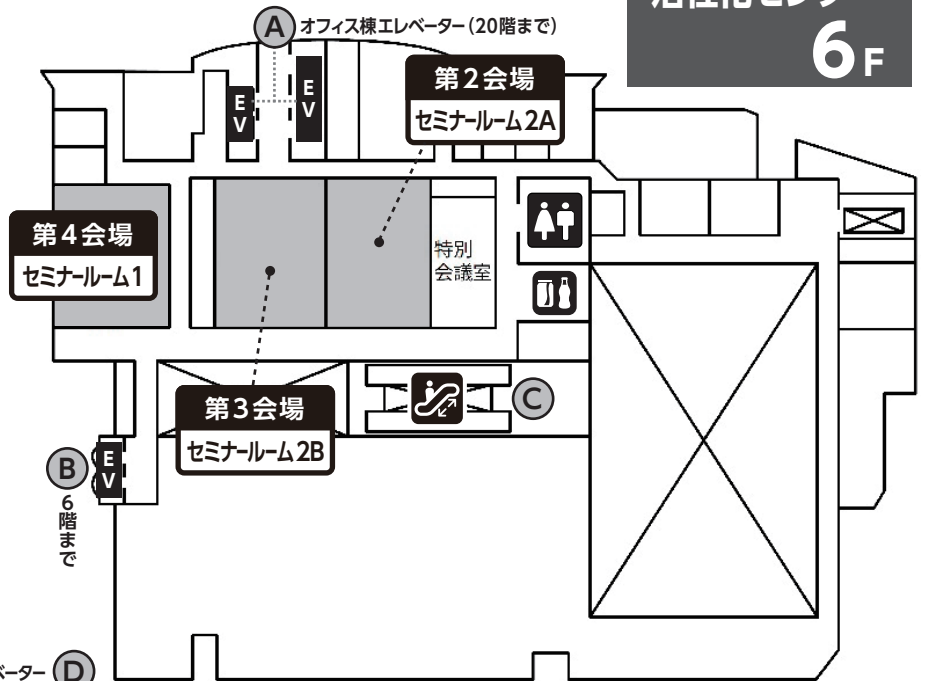


仙台市中小企業  
活性化センター **5F**

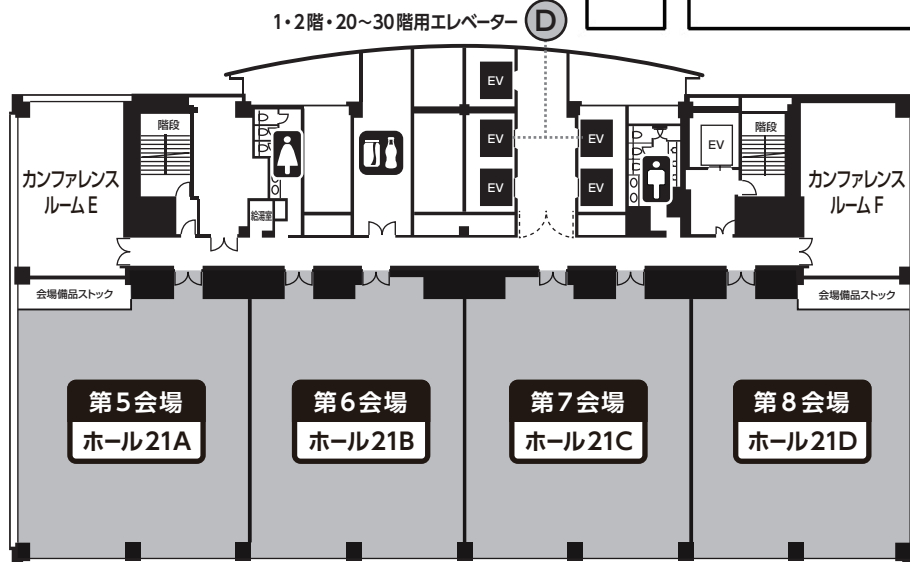
## 5・6階と21階間の移動方法

2階に戻り、エレベーターを乗り換え、  
もしくは  
20階でエレベーターを乗り換えし、  
目的のフロアへ移動してください。

- Ⓐ オフィス棟エレベーター：20階まで
- Ⓑ シースルーエレベーター：6階まで
- Ⓒ エスカレーター：6階まで  
(1～5階は10時まで動きません)
- Ⓓ 20～30階用エレベーター：  
1・2階・20～30階のみ



仙台市中小企業  
活性化センター **6F**



TKPガーデン  
シティ仙台 **21F**

トイレが少ないため、  
20階・30階のトイレも利用  
できます。  
(トイレの横に階段があります)



# ご参加の皆様へ

## 現地・オンライン 共通のご案内

### 1. 開催期間・会場

---

当学術集会は、現地会場および Web 上にて開催するハイブリッド形式です。

#### 【会場開催】

会期：2024年6月29日(土)～6月30日(日)

会場：AER(アエル) (〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央 1-3-1)  
5～6F 仙台市中小企業活性化センター / 21F TKP ガーデンシティ仙台

#### 【オンライン開催】

会期：2024年6月29日(土)～8月31日(土)

会場：オンライン開催ページ <https://jachn27.online.yupia.net/>

### 2. プログラム別開催方法

---

プログラムにより、現地開催、ライブ配信、オンデマンド配信の有無が異なります。  
詳細は次ページの表をご参照ください。

なお、一般演題(示説)については6月28日より配信開始予定です。  
その他のプログラムについては現地会場での実施内容を録画して配信するため、準備ができ次第配信を開始します。現地開催から1週間程度お待ちください。

#### ※「ライブ配信」と「オンデマンド配信」について

Zoomなどで、その時間に実施されているものがリアルタイムに配信されるものを「ライブ配信」といいます。

これに対してオンデマンド配信は、Web ページに動画などを掲載しておくことで、配信期間内の好きな時間に、いつでも何回でも、ご自身の都合に合わせて視聴ができます。

## 開催方法一覧

プログラム名	現地開催	ライブ配信	事後 オンデマンド配信 (8月末まで)
開会式・学術集会長講演	●	●	●
基調講演 1, 2	●	●	●
特別鼎談	●	●	●
シンポジウム	●	●	●
リレートーク	●	●	●
教育講演 1～6	●		●
研究セミナー 1～3	●		●
会員報告会・表彰式	●	●	●
理事会企画セミナー	●	●	●
オンデマンド共催セミナー			●
一般演題 口演 (2日目) (オンライン・セッション)	○ 会場でもZoom 視聴・登壇可	● Zoomにて発表	●
一般演題 示説 (動画オンデマンド発表)			●
ワークショップ (1日目)	● オンラインWSは Zoom開催の様子を 会場で上映	○ オンラインWS および 委員会企画WS のみ	○ 世話人の 希望により

ハイブリッド開催の詳細についてはホームページをご参照ください。

<https://jachn27.yupia.net/hybrid.html>



### 3. 領収書・参加証・名札

---

領収書は、入金確認のメール内にある URL からダウンロードが可能です。

参加証と名札については、現地開催の数日前にプレオープンする「オンライン開催ページ」でダウンロードが可能です。

領収書の宛名変更が必要な場合や別書式をご希望の方は、運営事務局までご相談ください。

領収書・参加証・名札は、必ずオンデマンド配信期間(8月31日まで)にダウンロードをお願いします。

### 4. 講演集

---

講演集は基本的に PDF 発行です。

すべての参加者が、参加証・名札と同様に、オンライン開催ページでダウンロードできます。

印刷版の冊子をご希望の場合、別途購入が可能です。ホームページの「参加申込」ページ内にある購入申込フォームからお申込みいただくか、現地会場の総合受付にてお求めください。なお、冊子が売り切れとなった場合には増刷のお時間をいただきますこと、ご了承ください。

### 5. 表彰演題

---

以下の演題を優秀演題賞として決定いたしました。

6月30日(日)の閉会式にて、表彰式を行います。

演題番号	筆頭者	タイトル
O-01-2	佐藤 太一	保健師の職場内教育(OJT)としての事例検討会を推進するためのガイドブックの有効性の検証 質的データを用いて
O-09-3	中川 葵唯	未就学児を養育する女性看護職の仕事と育児を両立することによる心理的成長に関する横断的観察研究
O-12-2	森 紘子	被災者のこころのケア 13年の関わりを通して支援者に伝えたいこと
O-15-1	鬼塚 美玲	厳冬期災害時の避難所を想定した非常食に関する調査研究
P-01-8	有本 梓	都市部在住の乳幼児を育てる母親における 孤独感とソーシャルサポートの関連 ーサポート源とサポートニーズに着目してー
P-04-4	大西 真衣	シニア向けオンライン運動プログラムの社会実装に向けた 段階的な取り組みの報告

---



## 6. 権利侵害についてのご注意

---

発表については、発表者に著作権や肖像権等の権利があります。発表者に許可なく撮影や録音をしたり、画面のスクリーンショットを撮ったりすることは権利侵害にあたりますのですべて禁止いたします。撮影・録音等を行っていることが明らかとなった場合には、それ以降の学術集会への参加をお断りいたします。十分にご留意ください。

なお、Web上に配布資料が設置されている場合はダウンロードが可能です。ダウンロードした資料の内容を引用・参照する場合は必ず引用・参照元を明記してください。

## 7. 撮影・記録について

---

学術集会では腕章をつけたスタッフや許可を受けた取材者が撮影を行います。

また、日本地域看護学会 次世代育成推進委員会では若手の会員加入を促進するため、学会に関する動画を撮影・編集しYouTubeにて公開しています。そのため本学術集会でも肖像権や著作権に配慮しつつ撮影を行います。

ご不明な点がございましたら、腕章をつけた委員会スタッフまでお問い合わせください。



## 現地参加のご案内

### 1. 受付場所と受付時間

---

受付場所： 中小企業活性化センター5階 展示スペース1「総合受付」

受付時間： 6月29日(土) 9:10~18:00  
6月30日(日) 9:30~15:00

### 2. 受付方法

---

#### 【事前にオンラインで参加登録・支払いをされた方へ】

- ・ 窓口での受付は不要です。  
オンライン開催ページでダウンロードできる名札をご自身で印刷してご持参ください。
- ・ 受付付近に名札ケースを用意しています。ケース内に名札を入れてご着用ください。  
(カラー印刷が難しい方、当日お忘れの方は総合受付にお申し出ください。)

#### 【当日申込をされる方へ】

- ・ できるだけ事前にオンラインで参加登録・お支払いをお願いいたします。  
難しい場合には当日「総合受付」で当日受付をいたします。  
ただし、会場での参加登録にはお時間をいただきますことをご了承ください。
- ・ 会場でのお支払いにはクレジットカードや一部の電子マネー、QRコード決済が利用可能です。できるだけ現金でのお支払いは避けてください。  
現金でお支払いの場合は、おつりのないように参加費をご用意ください。

### 3. クローク

---

5階の総合受付の隣にクロークを設置いたしますが、なるべくご宿泊先のクロークや駅のロッカーなどのご利用をお願いいたします。なお、貴重品はお預かりできません。

時間内のお引き取りをお願いいたします。

時間：6月29日(土) 9:10~20:00  
6月30日(日) 9:30~16:40

### 4. 飲食について

---

#### <昼食>

昼食のご用意はございません。

会場は仙台駅至近ですので、多数の飲食施設がございます。ぜひ足を延ばしていただき、仙台の味覚をお楽しみいただけましたら幸いです。

ご持参いただいた昼食は、第2・第3会場にて、空いている時間に召し上がっていただくことができます。ごみ箱の設置はございません。ごみはお持ち帰りください。

### <自販機コーナー>

5階、6階に自販機コーナーがあります。  
自販機コーナーでのお食事は禁止されておりますのでご注意ください。

### <学术交流茶話会>

飲食物の提供があります。詳細は以下の項をご参照ください。

## 5. 学术交流茶話会

---

同じ分野の仲間づくりや悩み相談、他分野との情報交流など、学术交流のための茶話会を開催します。開催時間中の入退室は自由です。お気軽にご参加ください。

参加費 : 無料 (学術集会参加者限定)  
日時 : 6月29日(土) 15:00~20:30  
15:00~17:00 銘菓アワー  
17:00~19:30 軽食アワー  
19:30~20:30 名酒アワー



入室時に関心領域のシールなどを身に付けていただく予定です。  
会場入口でご案内いたします。

皆様のお住まいの地域の銘菓や地酒などの持ち寄りを歓迎します。  
6月28日(金)14-16時の時間指定で送っていただくこともできます。  
是非ご検討ください。

その他詳細は学術集会サイトおよびチラシにてご確認ください。

ご案内ページ <https://jachn27.yupia.net/sanka.html#sawakai>

チラシPDF [https://jachn27.yupia.net/pdf/JACHN27\\_sawakai.pdf](https://jachn27.yupia.net/pdf/JACHN27_sawakai.pdf)

## 6. 学術集会中の会場における感染対策について

---

- ・ 原則としてマスク着用をお願いいたします。
- ・ 手指消毒液を設置しておりますので、こまめに手指消毒をお願いいたします。
- ・ 37.5℃以上の発熱、咳やのどの痛みなどの症状がある方や全身倦怠感など体調がすぐれない方は、ご来場をお控えください。オンライン参加とする、またはお早めにご帰宅いただくなど、自己管理をお願いいたします。

## 7. お手洗いの利用について

---

- ・ お手洗いの混雑が予想されます。  
特に TKP ガーデンシティ仙台21階はトイレの個室数が少ないため、なるべく中小企業活性化センター(5階・6階)のお手洗いをご利用ください。
- ・ TKP ガーデンシティ仙台においては、20階、および30階のトイレも利用可能です。  
21階から20階への移動には、お手洗い横の階段もご利用いただけます。

## 8. その他

---

- ・ 会場内は禁煙です。
- ・ 会場内では携帯電話の電源を切るか、マナーモードにしてください。
- ・ 荷物や衣類を置いて席を確保したままにすること(席とり)はご遠慮ください。
- ・ 感染症の流行や災害等により学術集会の自粛が必要な場合、速やかに現地会場での学術集会の中止を決定し、オンライン開催のみに切り替えます。この場合、学術集会ホームページに緊急掲示するとともに、会場の入口等に掲示します。

## オンライン参加のご案内

### 1. オンライン開催ページ

---



日本地域看護学会第27回学術集会  
オンライン開催ページ

<https://jachn27.online.yupia.net/>

開催期間:2024年6月29日(土)～8月31日(土)

- Web 開催の会場は上記の「オンライン開催ページ」です。オンライン開催ページに、ライブ配信の URL やオンデマンド配信の動画を掲載します。
- オンデマンド配信のみのプログラムは6月29日より視聴可能です。会場開催の記録動画は準備ができ次第掲載します。一週間程度お待ちください。
- オンライン開催ページは Google Chrome, Microsoft Edge の最新版で動作確認をしています。スマートフォンでもご覧いただけます。なお、Internet Explorer では正しい動作が保証できません。
- オンライン開催ページは現地開催の数日前にプレオープンします。プレオープンしましたらメールでご連絡しますので、現地開催・ライブ配信の前にログインをお試しください。
- 講演集、参加証・名札はこのページでダウンロードできます。開催期間内に必ずダウンロードしてください。
- ログインページに表示されている留意事項についてご確認いただき、遵守する旨のチェックを入れてログインしてください。
- 操作せずに6時間が経過するとログアウト状態になります。お手数ですが、再度ログインをお願いいたします。

### 2. ログイン情報

---

- オンライン開催ページにログインするためには、ID(参加登録番号)とパスワードが必要です。ID とパスワードは参加登録時の「参加申込を完了しました」というメールに記載されています。
- 入金確認ができていない場合はログインできません。
- ID とパスワードはご本人専用です。複数名でのご利用は避けてください。視聴する方は全員参加登録及びお支払いの上、個別にログインをお願いいたします。
- 同じ PC から別の方が参加される場合は、一度ログアウトをして頂き、改めてご自身の ID とパスワードでログインしてください。



### 3. ライブ配信にご参加の方へ

---

- ・ 1日目の第1会場の開催の様子は Zoom ウェビナーにてライブ配信します。
- ・ 1日目の第6会場のプログラムと、2日目の口演(オンライン・セッション)のプログラムは Zoom ミーティングにて配信・開催します。
- ・ それぞれのライブ配信のリンク先は「ライブ配信」のページに掲載します。
- ・ ウェビナーではご自身のビデオやマイクをオンにすることはできません。
- ・ ミーティングではご自身のビデオやマイクをオンにして、双方向のやり取りをすることができます。意見交換やグループワーク、質問等の際は、世話人や座長の指示に従ってください。

#### 【Zoom 利用についてのお願い】

- ・ Zoom は必ず最新版に更新してください。  
<https://zoom.us/download>
- ・ Zoom アプリケーションをインストールしてご利用いただくことをおすすめします。ブラウザで利用することもできますが、映像や音声スムーズに送受信できなかつたり、一部の機能が利用できなくなりますことをご了承ください。
- ・ Zoom 利用にご不安がある場合は以下の手引きをご参照ください。接続テストができるリンク先も文書の最後に記載しています。

<Zoom 参加の手引き> ※手引き作成時から機能が更新されている場合があります  
スマホ版 [https://www.yupia.net/tips/ZOOM\\_forMobile.pdf](https://www.yupia.net/tips/ZOOM_forMobile.pdf)  
PC 版 [https://www.yupia.net/tips/ZOOM\\_forPC.pdf](https://www.yupia.net/tips/ZOOM_forPC.pdf)

### 4. メッセージボックス

---

- ・ オンライン開催ページの中には「メッセージボックス」というページがあります。
- ・ このページでは一般演題の掲示板においてやりとりされた質問・感想(後述)の履歴を表示します。この表示内容は、ログインした方に個別の内容となります。
- ・ 質問・感想や返信があった場合、発表者や質問の投稿者にメールが送信されます。メール不要の場合はメールを受け取らない旨のチェックボックスにチェックを入れてください。

### 5. オンデマンド配信へのリアクション

---

各プログラムのページには、コメント欄や質問・感想掲示板を設置しており、一般演題では「拍手」を押すことができます。ぜひ積極的にご活用ください。

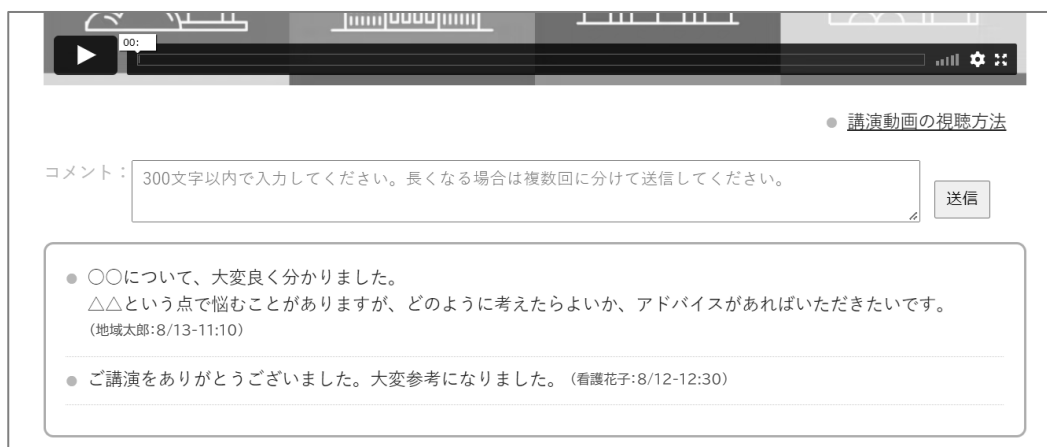
コメント欄や質問・感想掲示板への投稿内容について、事務局が不適切と判断した内容については削除させていただく場合がありますのでご了承ください。不適切な書き込みを発見した場合は、速やかにお知らせください。

## 1) メインプログラム

各プログラムにコメント欄を設置しています。

投稿すると、ご自身の氏名と投稿時刻が自動的に表示され、公開されます。

質問の書き込みも可能ですが、基本的には回答できませんことをご了承ください。



## 2) 一般演題

それぞれに「質問・感想」「拍手」のボタンを用意しています。ブラウザによっては正しく動作しませんので、推奨ブラウザ(Google Chrome, Microsoft Edge)をご利用ください。



### (1) 質問・感想

クリックすると該当演題の掲示板が開き、質問・感想を書き込むことができます。

投稿すると、ご自身の氏名と投稿時刻が自動的に表示され、公開されます。発表者からの返信に対してさらに返信を書き込むことも可能です。

質問・感想の書き込みがある演題では、質問・感想ボタン上に丸印が表示されます。

投稿履歴は各自のメッセージボックスのページで確認できます。

発表者が回答する時間が必要ですので、ご質問はできるだけオンライン開催期間終了の5日前までをお願いします。なお、回答がない場合もありますことをご了承ください。

投稿内容は全ての参加者が閲覧できます。個人情報や公開不可の内容は記載しないようご注意ください。

## (質問・感想ボタンをクリックした際の画面表示例)

質問・感想:

- 質問・感想1  
ご発表ありがとうございました。○○についてはどのようにお考えでしょうか？ (看護花子：8/23-12:30)  
ご質問ありがとうございます。  
今後○○を○○していく可能性があろうかと思えます。(発表太郎：08/23-16:10)
- 質問・感想2  
△△について、興味深く拝聴しました。  
自身も△△の対応に困ることがありましたので、参考にさせていただきます。  
ありがとうございました (米戸さゆり：08/25-12:17)

## (2) 拍手

手のマークが拍手ボタンです。何度でも押すことができます。

押すと音が鳴ります。ページ内に拍手音のオン・オフの切り替えボタンがあります。

「拍手」は匿名であり、誰が押したかはわかりません。

## 6. 注意事項

講演・発表内容のスクリーンショットを撮ることや、撮影・録音を行うことは権利侵害となりますため、固く禁止いたします。スクリーンショットの撮影、その他撮影・録音等を行っていることが明らかとなった場合には、それ以降の学術集会への参加をお断りいたします。



# 一般演題 発表者の方へ

## 口演発表の方へ

### <発表ファイルについて>

- ・ 6月27日(木)までに発表スライド(PowerPoint・音声不要)を事前提出の上、6月30日(日)に Zoom ミーティングを利用して、ご自身で口頭発表してください。
- ・ 発表スライドの作成方法については、ホームページの「発表者・世話人の方へ」に掲載している「口演発表の方へのご案内」(PDF)をご参照ください。

### <現地会場での登壇申請をされた方へ>

- ・ 事前に申請済みの方は、セッション開始時間の 20 分前までに「総合受付」にお越しください。登壇場所をご案内します。
- ・ 可能な限り、ご自身の PC、ヘッドセット・イヤホンをご持参ください。

### <発表方法>

- ・ セッション開始時間の5分前までには必ず Zoom にご入室いただき、当該セッションの終了時間まで在室してください。
- ・ 当日の ZoomURL は一般参加者と同じです。「オンライン開催ページ」内の「ライブ配信」のページから、ご自身の演題群の Zoom にご入室ください。
- ・ 入室後、ご自身の氏名を「演題番号+発表者名」に変更してください。(例:O-40-1 見本花子)
- ・ 1 演題あたりの発表時間は8分(操作時間等含む)です。
- ・ セッション内の全演題(3~4件)の発表終了後、質疑応答の時間(全体ディスカッション・15分程度)を設けますのでご対応ください。
- ・ ご自身の発表および質疑応答の時間には、ビデオ、マイクを on にしてください。

### <オンデマンド配信について>

- ・ 現地での発表を Zoom にて録画し、オンデマンド配信期間中に配信します(質疑の部分は配信しません)。
- ・ 配信は準備ができ次第~8月31日(土)までを予定しています。
- ・ オンデマンド配信期間中、参加者は自由に発表ファイルを閲覧でき、コメントを書き込むことができます。可能な範囲で結構ですので、質問への回答などのご対応をお願いいたします。なお、投稿内容は他の参加者にも公開されますため、個人情報等は投稿しないようご注意ください。誹謗・中傷など、不適切な内容がある場合は、運営事務局にご連絡ください。確認の上、削除対応いたします。



## 示説発表の方へ

- ・ 事前に提出していただいた発表ファイル(動画)をオンデマンド配信期間中に配信します。ホームページの「発表者・世話人の方へ」に掲載している「示説発表の方へのご案内」(PDF)を参照していただき、6月22日(土)までに8分以内の動画ファイルのご提出をお願いいたします。
- ・ 配信期間は6月29日(土)～8月31日(土)までを予定しています。
- ・ オンデマンド配信期間中、参加者は自由に発表ファイルを閲覧でき、コメントを書き込むことができます。可能な範囲で結構ですので、質問への回答などのご対応をお願いいたします。なお、投稿内容は他の参加者にも公開されますため、個人情報等は投稿しないようご注意ください。誹謗・中傷など、不適切な内容がある場合は、運営事務局にご連絡ください。確認の上、削除対応いたします。

## 一般演題 座長の方へ

### <現地会場で登壇される方へ>

- ・ ご担当のセッションの開始15分前までに「総合受付」にて受付をお願いします。
- ・ ご担当のセッションの開始10分前までに各会場にお入りいただき、前のセッションの終了後に会場スタッフにお声かけください。

### <セッションについて>

- ・ ご担当のセッションの開始10分前までに Zoom に入室してください。
- ・ 入室後はお名前を「第〇群座長+氏名」にご変更ください。  
(例: 第20群座長 看護花子)
- ・ セッション開始時間となりましたら、セッションを開始してください。  
司会はおりませんので、先生のご発声で開始、進行をお願いいたします。
- ・ 発表は 1 演題につき8分間です。7分、8分となりました際にチャットでお知らせします。  
発表時間が長くなる場合は、手短かにまとめていただくよう発表者への声掛けをお願いします。
- ・ セッション内の全員分の発表終了後、15分間のディスカッションを実施してください。  
発表演題への質疑応答のほか、当該セッション領域の発展につながるような意見交換を歓迎します。
- ・ 参加者からの質問・意見は、音声で受けても、チャットで受けても、いずれでも結構ですので、その旨お声掛けください。また、適宜、チャット欄のご確認もお願いいたします。
- ・ できるだけ時間通りにセッションが進行するようご協力をお願いいたします。  
ディスカッション終了後は、セッションの終了を宣言してください。

※ セッションは Zoom 上で録画し、発表部分のみオンデマンド配信する予定です(質疑は含みません)。録画に際しトラブルが発生した場合などは少々お待ちいただく場合がございますこと、何卒ご了承ください。



# 委員会企画・ワークショップ世話人の方へ

## <当日の受付と終了報告>

- ・ 現地で開催する方は、開始時間の20分前までに、5階総合受付にてワークショップ受付をお願いします。トラブル時の連絡先などを記載した用紙をお渡しします。
- ・ 終了後はお渡しした用紙に参加者数(概数)などをご記入いただき、スタッフにお渡しいただくか、総合受付にご返却ください。ご返却は当日のうちにお願いたします。

## <現地会場 室外の掲示について>

- ・ 受付用として、部屋の外に机と椅子をご用意します。
- ・ 部屋の入口壁面に、書き込み可能なホワイトボード(幅40cm×高さ52cm)があります。また、ホワイトボードの立て看板(掲示面:幅27cm×高さ86cm)も利用できます。掲示物はホワイトボードにマグネットで掲示できます。テープの利用は禁止です。(壁面への貼り付けは厳禁です。壁面の保護にご留意ください。)

## <現地会場 室内について>

- ・ 開催会場はスクール形式(机と椅子がある形)です。机や椅子は動かしていただいても結構ですが、時間内に原状復帰をお願いいたします。
- ・ 演者席にPCを1台をご用意します。HDMI 接続で会場のプロジェクター・スクリーンが使用できます。
- ・ ハイブリッド開催を行う第6会場は、会場のインターネットが利用できます(PC10台まで)。接続情報は会場でご確認ください。また、音声がハウリングしないよう音響設定をして演台のPCに会場音声を繋いでいます。演台のPCを変更される際はスタッフにお声掛けください。
- ・ マイクは有線2本(第6会場は3本)、ワイヤレス2本が利用できます。
- ・ 上記以外の機器が必要な場合は原則として世話人がご準備ください。なお、持ち込み機材・備品の破損・紛失が生じた場合でも、学術集会事務局では責任を負いかねます。
- ・ 照明や音響の操作方法等については開始前にスタッフをご説明いたします。

## <発表ファイル>

- ・ 発表ファイルはウイルスチェックを済ませた USB メモリでご持参いただき、直接会場のPCに挿入してご利用ください。受付は不要です。
- ・ レイアウト崩れを防ぐため、Windows 標準フォントを利用することをお勧めします。
- ・ 開示すべき利益相反状態の有無や、有の場合はその詳細を入れてください。
- ・ セッション終了後にご自身でPCからデータを削除してください。なお、データが残っている場合は、事務局にて消去いたします。

### <運営・片づけ>

- ・ 開催会場の準備・進行・片づけは全て世話人の方が行ってください。開催中は会場内にスタッフはおりません。
- ・ 会場には、前のプログラム終了後に入場してください。
- ・ 指定された時間内に片づけまで終了し、原状復帰して退出してください。終了後の休憩時間には次のプログラムの方が準備できるよう、ご協力をお願いいたします。
- ・ 企画中に使用した物品および配布物等は、会場に残さずすべてお持ち帰りください。

### <ライブ配信について>

- ・ Zoom 等はご自身で設定してください。事前にお知らせいただいた URL 等を、オンライン開催ページの「ライブ配信」のページに掲載します。
- ・ 当日の Zoom 等の立ち上げ、操作、録画等も、必要に応じてご自身でお願いいたします。
- ・ ハイブリッド開催の場合、会場の参加者とオンライン上の参加者、それぞれに対しスライド表示が必要となることにご留意ください。会場内でも、Zoom 等での見え方を確認されることをお勧めします。お困りの際はオペレーターをお呼びください。

### <オンデマンド配信について>

- ・ 動画1件に限り、オンデマンド配信が可能です。申込時の登録内容にかかわらず、ご希望があれば掲載できます。
- ・ 掲載を希望する動画はクラウドサービスなどにアップし、ダウンロードできる URL を運営事務局 [jachn27@yupia.net](mailto:jachn27@yupia.net) にメールでお知らせください。3日以内に拝受のご連絡をいたします。連絡がない場合は電話等でご確認ください。
- ・ 動画はオンライン開催ページに順次掲載します。掲載後の変更は基本的にお受けできませんので、確定版をお知らせください。





# プログラム一覧

## 第1日目 6月29日(土)

**開会式** 第1会場（多目的ホール） 9:40～10:00

**会長講演** 第1会場（多目的ホール） 10:00～10:30

### 地域看護のソーシャルイノベーション –地域社会の包容力を高める看護の挑戦–

講師：大森 純子（東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野 教授）  
座長：麻原 きよみ（大分県立看護科学大学 学長）

**基調講演 1** 第1会場（多目的ホール） 10:35～11:25

### 地域看護のソーシャルイノベーションを掲げて ～地域看護の未来と可能性

講師：秋山 正子（(株)ケアーズ代表取締役 白十字訪問看護ステーション 統括所長  
認定 NPO マギーズ東京 共同代表理事 センター長）  
座長：大森 純子（東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野 教授）

**基調講演 2** 第1会場（多目的ホール） 11:30～12:20

### 地元に根を張る地域看護

講師：中村 順子（NPO 法人ホームホスピス秋田）  
座長：浦山 美輪（東北大学病院 副院長・看護部長）

**会員報告会・表彰式** 第1会場（多目的ホール） 12:30～13:20

### 地域看護学・公衆衛生看護学・在宅看護学の看護基礎教育の今後に向けて： 地域看護関連合同委員会より

- 話題提供者： 佐藤 紀子（日本地域看護学会 理事・教育委員会委員長）  
 岩本 里織（日本公衆衛生看護学会 理事・教育委員会委員長）  
 小野 若菜子（日本在宅看護学会 理事）  
 座長： 岸 恵美子（日本地域看護学会 副理事長）  
 河野 あゆみ（日本地域看護学会 副理事長）

### 特別鼎談

第1会場（多目的ホール）

15:00~16:30

### 地域社会と共に変革する看護

- 講師： 浦山 美輪（東北大学病院 副院長・看護部長）  
 杉内 美佐子（医療法人社団愛生会昭和病院 副院長・看護部長）  
 日向 園恵（日本赤十字社石巻赤十字病院看護部 老人看護専門看護師）  
 座長： 尾崎 章子（東北大学大学院医学系研究科老年・在宅看護学分野 教授）

### シンポジウム

第1会場（多目的ホール）

16:40~18:10

### 地域社会の未来を変える看護

#### —その人らしい育ち・子育てを応援するソーシャルキャピタル—

- シンポジスト： 塩野 悦子（東北福祉大学健康科学部 教授 / 宮城県助産師会 会長）  
 小川 ゆみ（一般社団法人マザー・ウイング 代表理事 /  
 特定非営利活動法人子育て支援ARI ママネット 理事長）  
 遠山 裕湖（宮城県医療的ケア児等相談支援センターちるふぁ センター長）  
 座長： 下山田 鮎美（東北福祉大学健康科学部保健看護学科 教授）

### リレートーク

第1会場（多目的ホール）

18:20~19:55

### 地域社会の変容を起こす看護

#### —鶴ヶ谷地区における地区保健活動とそれを包含する地区住民の活動—

- 講師： 千葉 良恵（仙台市宮城野区保健福祉センター障害高齢課 主査 保健師）  
 早坂 佳穂（仙台市宮城野区保健福祉センター家庭健康課 保健師）  
 遠藤 恵（労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団  
 仙台市鶴ヶ谷東マイスクール児童館 館長）  
 和知 洋子（公益財団法人仙台市医療センター 仙台オープン病院 看護部長）  
 芦澤 勝彦（有限会社ひまわり手芸店 代表取締役）  
 座長： 佐野 ゆり（仙台市健康福祉局保健衛生部健康政策課 課長）  
 畑山 明美（仙台市宮城野区保健福祉センター家庭健康課 課長）

**教育講演 1**

第5会場（ホール 21A）

13:00～14:00

**住民の生活を支える看護拠点～看護小規模多機能型居宅介護の現状と事例紹介～**

- 講師：小野 久恵（有限会社あおい 代表取締役）  
佐々木 浩幸（有限会社あおい 事業推進部 部長）  
座長：松永 篤志（東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野 助教）

**教育講演 2**

第5会場（ホール 21A）

14:10～15:10

**住民と育てる地域医療マインド**

- 講師：丸山 博行（青森県立中央病院地域医療支援部 部長）  
座長：北宮 千秋（弘前大学大学院保健学研究科看護学領域 教授）

**教育講演 3**

第5会場（ホール 21A）

15:20～16:20

**住民と共に歩む復興の道のり**

- 講師：工藤 奈織美（福島県双葉郡富岡町健康づくり課健康づくり係 係長）  
座長：小澤 涼子（天使大学大学院看護栄養学研究科公衆衛生看護学領域 准教授）

**教育講演 4**

第5会場（ホール 21A）

16:30～17:30

**多文化共生を叶える文化的能力**

- 講師：小笠原 理恵（大阪大学大学院医学系研究科国際未来医療学講座 特任講師）  
座長：中野 久美子（東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野 助教）

**教育講演 5**

第5会場（ホール 21A）

17:40～18:40

**地域ケアを支える地元ナースの養成**

- 講師：菅原 京子（山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科地域看護学領域 教授）  
座長：今野 浩之（山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科 准教授）

**教育講演 6**

第8会場（ホール 21D）

16:35～17:35

**地域ケアを司る訪問看護の人材育成**

- 講師：高橋 和子（宮城大学看護学群在宅看護学 教授）  
座長：松野 あやえ（東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野 学術研究員）

研究セミナー 1 第 8 会場 (ホール 21D) 13:05~14:05

**疫学研究×地域看護  
エビデンスに基づくヘルスケアを目指して**

講師 : 寶澤 篤 (東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野 教授)  
座長 : 岩本 萌 (東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野 助教)

研究セミナー 2 第 8 会場 (ホール 21D) 14:15~15:15

**AI 情報科学×地域看護  
地域医療と AI - AI が地域医療に貢献できること**

講師 : 岩崎 淳也 (東北大学医学教育推進センター 講師)  
座長 : 原 ゆかり (東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野 助教)

研究セミナー 3 第 8 会場 (ホール 21D) 15:25~16:25

**ロボット工学×地域看護  
共創する未来:福祉ロボットと地域看護のシナジー**

講師 : 平田 泰久 (東北大学大学院工学研究科ロボティクス専攻 教授)  
座長 : 江角 伸吾 (宮城大学看護学群地域看護学 准教授)

委員会企画・ワークショップ 会場・時間は別紙一覧参照

拡大編集委員会 第 3 会場(セミナールーム 2B) 18:40~19:40

学術交流茶話会 第 4 会場 (セミナールーム 1) 15:00~20:30

15:00~17:00 銘菓アワー

17:00~19:30 軽食アワー

19:30~20:30 名酒アワー





## 第2日目 6月30日(日)

### 一般演題 口演 (オンライン・セッション) Zoom

※会場名表示はパブリックビューイング会場

10:00~

第1群	看護管理・人材育成・キャリア支援1	第1会場
第2群	地域包括ケア・協働・連携	第2会場
第3群	在宅ケア・在宅移行支援	第3会場
第4群	高齢者保健・介護予防1	第4会場

11:00~

第5群	看護管理・人材育成・キャリア支援2	第1会場
第6群	地域づくり・ソーシャルキャピタル	第2会場
第7群	訪問看護・ケアマネジメント	第3会場
第8群	高齢者保健・介護予防2	第4会場

13:00~

第9群	看護管理・人材育成・キャリア支援3	第1会場
第10群	地域包括ケア・協働・連携／地域づくり・ソーシャルキャピタル	第2会場
第11群	障害児・者支援	第4会場

14:00~

第12群	精神保健・看護	第1会場
第13群	産業保健・職域保健／健康づくり・ヘルスプロモーション	第2会場
第14群	子育て支援・虐待予防	第4会場

15:00~

第15群	健康危機管理	第1会場
第16群	健康づくり・ヘルスプロモーション	第2会場
第17群	思春期保健・学校保健	第4会場

閉会式・優秀演題表彰式 Zoom／第1会場 (多目的ホール) 16:00~16:30

## オンデマンド配信プログラム（2024年8月末まで配信）

### オンデマンド共催セミナー 1

共催:東北大学 災害科学国際研究所

#### 学際的防災推進の重要性:防災コミュニケーションとインクルーシブ防災

講師： 栗山 進一（東北大学 災害科学国際研究所 所長）  
福島 洋（東北大学 災害科学国際研究所 准教授）  
朴 慧晶（東北大学 災害科学国際研究所 助教）

### オンデマンド共催セミナー 2

共催:大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカルズ事業部

#### 女性ホルモンによる様々な困りごととその対応 ～医療、セルフケア、プラスα～

講師： 小川 真里子（公立大学法人福島県立医科大学  
ふくしま子ども・女性医療支援センター 産婦人科 特任教授）

### オンデマンド共催セミナー 3

共催:イオンライフ株式会社

#### 看護に役立つ終活の知識 ～想いをつなぐメッセージノートの活用～

講師： 谷 知也（イオンライフ株式会社 CS サポート部長）

※ 現地会場にてエンディングノートの提供あり(先着 500 名)

### 一般演題 示説（動画オンデマンド発表）

※ 上記のほか、準備が整い次第、メインプログラムの記録動画、一般演題口演(オンライン・セッション)の発表記録動画、一部ワークショップの提出動画をオンデマンド配信します。



## ワークショップ一覧 6月29日(土)開催

★:当日ライブ配信予定

オンラインワークショップ★ Zoom(パブリックビューイング:第6会場) 13:25~14:45

地域看護における人材育成や組織マネジメント力を高めることについて語り合おう  
～現職者による大学院での学びを通して～

杉田 由加里<sup>1)</sup>, 石丸 美奈<sup>1)</sup>, 飯野 理恵<sup>1)</sup>, 小宮山 日登美<sup>2)</sup>, 杉原 幸子<sup>3)</sup>,  
前田 由希子<sup>4)</sup>

- 1) 千葉大学大学院看護学研究院 2) 訪問看護ステーションひとみ  
3) 君津中央病院附属看護学校 4) 成田市福祉部障がい者福祉課

次世代育成推進委員会ワークショップ★ 第6会場(ホール21B) 15:00~16:20

次世代育成推進委員会主催「引き出しあい、つながる場」  
～こんなことやってみたいを共有しませんか?～

石丸 美奈<sup>1)</sup>, 川崎 涼子<sup>2)</sup>, 松井 理恵<sup>3)</sup>, 阿部 宏史<sup>4)</sup>, 佐藤 太一<sup>1)</sup>, 成瀬 昂<sup>5)</sup>,  
板谷 智也<sup>6)</sup>, 岡野 明美<sup>7)</sup>, 堀池 諒<sup>8)</sup>, 蔭山 正子<sup>9)</sup>

- 1) 千葉大学大学院 2) 長崎大学 3) 群馬大学大学院 4) 藍野大学  
5) SOMPO インスティテュート・プラス株式会社 6) 宮崎大学 7) 大阪公立大学  
8) 大阪医科薬科大学 9) 大阪大学

実践促進委員会ワークショップ★ 第6会場(ホール21B) 16:40~18:00

当事者×実践者×研究者=みんなで作る質の高い実践!

一日本地域看護学会 実践促進委員会企画

田口 敦子<sup>1)</sup>, 秋山 正子<sup>2)</sup>, 石川 志麻<sup>1)</sup>, 浦山 美輪<sup>3)</sup>, 尾形 由起子<sup>4)</sup>,  
曾我 智子<sup>5)</sup>, 中村 順子<sup>6)</sup>, 三輪 恭子<sup>7)</sup>

- 1) 慶應義塾大学看護医療学部 2) 認定NPO法人マギーズ東京センター  
3) 東北大学病院 4) 福岡県立大学 5) 泉大津市地域包括支援センター  
6) ホームホスピス秋田 ホームホスピス秋田訪問看護ステーション 7) 大阪公立大学

健康危機支援委員会ワークショップ★ 第6会場(ホール21B) 18:20~19:40

復旧・復興の過程で生じる移動と地域社会とのつながり  
～能登半島地震を対象にGIS(地理情報システム)を用いて～

堀池 諒<sup>1)</sup>, 佐々木 亮平<sup>2)</sup>, 板谷 智也<sup>3)</sup>, 川口 奏子<sup>4)</sup>, 吉川 悦子<sup>5)</sup>,  
奥田 博子<sup>6)</sup>, 石田 千絵<sup>5)</sup>

- 1) 大阪医科薬科大学 2) 岩手医科大学 3) 宮崎大学  
4) 在宅看護研究センターLLP/日本在宅看護システム有限会社  
5) 日本赤十字看護大学 6) 国立保健医療科学院

ワークショップ 2-1

第2会場(セミナールーム 2A)

15:10~16:30

プレイバックシアター×ヘルスヒューマニティズ×地域看護  
—互いのストーリーから学びあう共感性あるコミュニティづくりを目指して—

岡田 麻里<sup>1,11)</sup>, 虫明 美喜<sup>2,3,10)</sup>, 虫明 元<sup>4,10)</sup>, 遠藤 裕太<sup>5,10)</sup>, 仙木 志依<sup>6,10)</sup>,  
秋山 陽香<sup>7,10)</sup>, 泉 飛羽<sup>8,10)</sup>, 笹木 瞳<sup>9,10)</sup>, 小林 秋恵<sup>1)</sup>

- 1) 香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科
- 2) 一般社団法人東北文化アカデミー
- 3) 宮城教育大学
- 4) 東北大学大学院医学系研究科
- 5) 宮城県栗原市市民生活部
- 6) 東北大学医学部保健学科放射線専攻
- 7) 宮城大学看護学群看護学類
- 8) 東北大学大学院医学部保健学科看護学専攻
- 9) 東北大学工学部
- 10) あおばプレイバックシアター
- 11) 劇団しましま

ワークショップ 2-2

第2会場(セミナールーム 2A)

16:50~18:10

在宅生活支援のための事例検討会における見取り図活用の提案  
事例検討会を体験してみよう!

工藤 恵子<sup>1)</sup>, 岩本 里織<sup>2)</sup>, 高橋 郁子<sup>1)</sup>, 猪股 久美<sup>1)</sup>

- 1) 帝京平成大学ヒューマンケア学部
- 2) 神戸市看護大学看護学部

ワークショップ 2-3

第2会場(セミナールーム 2A)

18:30~19:50

認知症高齢者の生活支援ってどうしていますか?  
～地域包括支援センター保健師職の交流会活動を通して～

古賀 佳代子<sup>1)</sup>, 岡野 明美<sup>2)</sup>, 保母 恵<sup>3)</sup>, 曾我 智子<sup>4)</sup>, 森永 朗子<sup>5)</sup>

- 1) 福岡大学医学部看護学科
- 2) 大阪公立大学大学院看護学研究科
- 3) 駒沢女子大学看護学部看護学科
- 4) 泉大津市社会福祉協議会
- 5) 久留米大学医学部看護学科

ワークショップ 3-1

第3会場(セミナールーム 2B)

15:20~16:40

看護基礎教育におけるダブルケアラー支援の教育  
医療専門職による育児と介護のダブルケアラー支援団体 DC NETWORK と一緒に考える

若松 千尋<sup>1)</sup>, 寺田 由紀子<sup>2)</sup>, 真溪 淳子<sup>3)</sup>, 栗田 真由美<sup>4)</sup>, 伊藤 佳美<sup>5)</sup>,  
生天目 禎子<sup>1)</sup>, 荒牧 順子<sup>6)</sup>, 渋谷 郁恵<sup>2)</sup>

- 1) 帝京大学医療技術学部
- 2) 帝京大学助産学専攻科
- 3) 仙台青葉学院大学看護学部
- 4) 静岡県立大学看護学部
- 5) 宮城大学看護学群
- 6) 佐賀県医療的ケア児支援センター(株式会社ドアーズ)

ワークショップ 3-2

第3会場(セミナールーム 2B)

17:00~18:20

「人々を惹きつける」保健師×AI の特定保健指導システムと一緒に考えよう

中西 永子<sup>1)</sup>, 森本 雅和<sup>2)</sup>, 新居 学<sup>2)</sup>

- 1) 兵庫県立大学看護学部
- 2) 兵庫県立大学大学院工学研究科



## 一般演題一覧

◎:優秀演題

### 口演 (オンライン・セッション)

10:00~10:50 第1会場

#### 口演 第1群 看護管理・人材育成・キャリア支援1

座長: 森田 誠子 (日本赤十字秋田看護大学)

- O-01-1 社会的包摂を志向する保健師活動原理モデル普及の教育プログラムの考案  
松永 篤志<sup>1)</sup>, 都筑 千景<sup>2)</sup>, 山下 典子<sup>3)</sup>, 澤田 恵津子<sup>3)</sup>, 中野 久美子<sup>1)</sup>, 岩本 萌<sup>1)</sup>, 原 ゆかり<sup>1)</sup>, 新家 静<sup>3)</sup>, 大森 純子<sup>1)</sup>  
1) 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻公衆衛生看護学分野  
2) 大阪公立大学大学院看護学研究科 3) 高槻市子ども未来部子ども保健課
- O-01-2◎ 保健師の職場内教育(OJT)としての事例検討会を推進するためのガイドブックの有効性の検証 質的データを用いて  
佐藤 太一  
千葉大学国際高等研究基幹
- O-01-3 看護師経験を経て働く保健師の強みと、看護師経験との違いに関する質的記述的研究  
友野 優梨<sup>1)</sup>, 岩本 萌<sup>1)</sup>, 中野 久美子<sup>1)</sup>, 松永 篤志<sup>1)</sup>, 原 ゆかり<sup>1)</sup>, 津野 陽子<sup>2)</sup>  
1) 東北大学大学院医学系研究科 2) 埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科
- O-01-4 予防活動に対して市町村中堅期保健師に求められる実践技術  
飯野 理恵<sup>1)</sup>, 宮崎 美砂子<sup>1)</sup>, 佐藤 紀子<sup>2)</sup>, 杉田 由加里<sup>1)</sup>, 石丸 美奈<sup>1)</sup>, 時田 礼子<sup>3)</sup>, 鈴木 悟子<sup>4)</sup>, 坂井 文乃<sup>1)</sup>, 佐藤 太一<sup>5)</sup>, 栗栖 千幸<sup>6)</sup>, 土屋 裕子<sup>7)</sup>  
1) 千葉大学大学院看護学研究院 2) 千葉県立保健医療大学 3) 東京情報大学看護学部  
4) 富山大学学術研究部医学系 5) 千葉大学国際高等研究基幹  
6) 亀田医療大学看護学研究科 7) 千葉科学大学看護学部

10:00~10:50 第2会場

#### 口演 第2群 地域包括ケア・協働・連携

座長: 寺本 健太 (晴海おとしより相談センター)

- O-02-1 地域包括支援センター看護職の研修受講の現状と研修ニーズ  
佐藤 太地, 井口 理  
日本赤十字看護大学看護学部
- O-02-2 委託型地域包括支援センターで働く熟練保健師が語る職業的魅力  
仙田 裕子<sup>1,2)</sup>, 門間 晶子<sup>1)</sup>, 尾崎 伊都子<sup>1)</sup>  
1) 名古屋市立大学大学院看護学研究科 2) 一般財団法人名古屋市療養サービス事業団

- O-02-3 A 病院地域包括ケア病棟看護師が捉えている「地域包括ケア」と看護師の持つ  
価値観・思考  
川森 淳子  
社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院
- O-02-4 行政保健師が他者と共に支援を行う際の連携の成立に向けた行為の意志決定  
プロセス  
田中 亜紀<sup>1)</sup>, 石川 麻衣<sup>2)</sup>, 堀田 かおり<sup>2)</sup>, 松井 理恵<sup>2)</sup>, 佐藤 由美<sup>2)</sup>  
1) 高崎市役所 2) 群馬大学大学院保健学研究科

10:00~10:50 第3会場

口演 第3群 在宅ケア・在宅移行支援

座長: 佐藤 晃子 (東北福祉大学)

- O-03-1 中国語の対応可能なデイサービスを利用して在宅生活を送る中国帰国者の今と  
今後の生活に関する思い 質的研究  
YAN QIJUN<sup>1)</sup>, 田村 直子<sup>2)</sup>, 牛久保 美津子<sup>3)</sup>  
1) 群馬大学大学院保健学研究科博士前期課程  
2) 高崎健康福祉大学 3) 群馬大学大学院保健学研究科
- O-03-2 療養が必要な高齢者が過疎地域で暮らし続けることの意味  
: 栃木県の農山村におけるエスノグラフィー  
大森 史佳<sup>1)</sup>, 井口 理<sup>2)</sup>, 石田 千絵<sup>2)</sup>  
1) 那須赤十字病院 2) 日本赤十字看護大学
- O-03-3 医療依存度が高い利用者の主介護者の生活の観点から考える看護小規模多機能型  
居宅介護の利点  
橋本 舞子<sup>1)</sup>, 松永 篤志<sup>2)</sup>, 小野 久恵<sup>3)</sup>, 佐々木 浩幸<sup>3)</sup>, 大森 純子<sup>2)</sup>  
1) 東北大学医学部保健学科看護学専攻  
2) 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻公衆衛生看護学分野 3) 有限会社あおい
- O-03-4 在宅医療受療者における褥瘡の実態と認知症との関連—OHCARE 研究—  
森岡 千尋, 村上 尚子, 深田 悠花, 中村 千賀, 矢野 朋子, 奈古 由美子,  
呉代 華容, 木戸 倫子, 樺山 舞, 神出 計  
大阪大学医学系研究科保健学専攻

10:00~10:50 第4会場

口演 第4群 高齢者保健・介護予防1

座長: 岡野 明美 (大阪公立大学大学院)

- O-04-1 地域在住高齢男性が通いの場に参加した意図  
石田 和子<sup>1)</sup>, 山谷 麻由美<sup>2)</sup>, 嶋津 多恵子<sup>2)</sup>, 野尻 由香<sup>2)</sup>  
1) 勝どきおとしより相談センター 2) 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科
- O-04-2 地域在住の男性の自立高齢者が認識する自分らしい健康的な生活  
—フォトボイスの活用—  
堀田 かおり, 石川 麻衣, 佐藤 由美  
群馬大学大学院保健学研究科
- O-04-3 地域在住高齢者における健康に関する相談先と生活満足度の関連  
—フレイル別検討—  
富永 優里<sup>1)</sup>, 木戸 倫子<sup>1)</sup>, Li Yaya<sup>1)</sup>, 聲高 英代<sup>1)</sup>, 西田 芽生<sup>1)</sup>,  
北村 明彦<sup>2)</sup>, 神出 計<sup>1)</sup>, 樺山 舞<sup>1)</sup>  
1) 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 2) 八尾市保健所健康まちづくり科学センター

- O-04-4 団地在住高齢者の被援助要請志向の実態とその関連要因  
 吉田 裕美<sup>1)</sup>, 大澤 まどか<sup>1)</sup>, 赤塚 永貴<sup>1)</sup>, 岸下 洸一朗<sup>2)</sup>, 田口 敦子<sup>1)</sup>,  
 伊藤 貴子<sup>3)</sup>, 岩瀬 牧子<sup>3)</sup>, 小澤 直美<sup>3)</sup>, 永田 幸子<sup>3)</sup>, 梶川 美月<sup>3)</sup>,  
 中澤 寛美<sup>3)</sup>, 門脇 由美<sup>3)</sup>, 齋藤 修身<sup>3)</sup>  
 1) 慶應義塾大学看護医療学部 2) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科  
 3) 横浜市栄区福祉保健センター福祉保健課

11:00~11:40 第1会場

口演 第5群 看護管理・人材育成・キャリア支援2

座長：桂 晶子（山形県立保健医療大学）

- O-05-1 看護職における職場選択理由の実態および職場選択に関連する個人要因の検討  
 佐藤 香純<sup>1)</sup>, 原 ゆかり<sup>2)</sup>, 平山 英幸<sup>2)</sup>, 伊藤 里美<sup>2)</sup>, 大森 純子<sup>2)</sup>  
 1) 東北大学医学部 2) 東北大学大学院医学系研究科
- O-05-2 市町村の中堅期保健師がキャリア・プラトールを乗り越えた経験  
 高橋 愛実<sup>1)</sup>, 石川 麻衣<sup>2)</sup>, 松井 理恵<sup>2)</sup>, 堀田 かおり<sup>2)</sup>, 佐藤 由美<sup>2)</sup>  
 1) 高崎市役所保健医療部健康課健康づくり担当 2) 群馬大学保健学研究科
- O-05-3 看護職として働いていない人の退職理由と働くことに対して抱く希望  
 後藤 花歩<sup>1)</sup>, 原 ゆかり<sup>2)</sup>, 平山 英幸<sup>2)</sup>, 伊藤 里美<sup>2)</sup>, 大森 純子<sup>2)</sup>  
 1) 東北大学医学部保健学科看護学専攻 2) 東北大学大学院医学系研究科

11:00~11:50 第2会場

口演 第6群 地域づくり・ソーシャルキャピタル

座長：松井 理恵（群馬大学大学院）

- O-06-1 地域の独居高齢者を支援する民生委員のアドバンス・ケア・プランニングにつながる体験  
 福井 菜月<sup>1)</sup>, 清水 真由美<sup>2)</sup>, 関根 由紀<sup>2)</sup>  
 1) 鈴鹿市認知症初期集中支援チーム 2) 三重県立看護大学看護学部
- O-06-2 子育て世代による高齢者見守りの実態とその関連要因  
 河野 瑠奈<sup>1)</sup>, 鳥居 順子<sup>2)</sup>, 入野 了士<sup>2)</sup>, 田中 美延里<sup>2)</sup>  
 1) 愛媛県立医療技術大学大学院保健医療学研究科看護学専攻  
 2) 愛媛県立医療技術大学保健科学部看護学科
- O-06-3 地域で気軽に立ち寄れる居場所づくりを目指して  
 飲食店と協働した暮らしの保健室  
 西原 康平<sup>1)</sup>, 岡田 ゆみ<sup>2)</sup>  
 1) 訪問看護ステーションAioi 2) 県立広島大学 保健福祉学部
- O-06-4 民生委員の子育て支援活動の実態—委員の性別による困難さの比較—  
 神戸 玲, 五十嵐 久人, 高橋 宏子, 石田 史織  
 信州大学医学部保健学科



## 口演 第7群 訪問看護・ケアマネジメント

座長：千葉 洋子（宮城大学）

- O-07-1 自身の生活機能に対して自信のなさを出している在宅認知症高齢者への  
かかわりー訪問看護師へのインタビュー調査ー  
梁瀬 夕菜<sup>1)</sup>，清水 恵<sup>1)</sup>，中本 五鈴<sup>1)</sup>，前田 香苗<sup>2)</sup>，尾崎 章子<sup>1)</sup>  
1) 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻 老年・在宅看護学分野  
2) 公益社団法人 宮城県看護協会 青葉訪問看護ステーション
- O-07-2 訪問看護師による「ひきこもり在宅療養者家族」への支援の必要性の認識  
澤井 詩織  
長崎大学生命医科学域(保健学系) 公衆衛生看護学分野
- O-07-3 大規模災害に備えた訪問看護における災害訓練の実施方法の企画・実施  
～IT 機器を活用したオンラインにおける訓練の可能性～  
今野 知穂，町田 理恵  
ソフィアメディ株式会社
- O-07-4 管理者の視点からとらえた訪問看護師の就業継続につながった職場サポート  
坂井 理恵<sup>1)</sup>，吉川 悦子<sup>2)</sup>，石田 千絵<sup>2)</sup>  
1) 佐久総合病院訪問看護ステーション 2) 日本赤十字看護大学大学院

## 口演 第8群 高齢者保健・介護予防2

座長：阿部 宏史（藍野大学）

- O-08-1 精神看護専門看護師による認知症看護外来の取り組み  
山口 陽子  
jcho 京都鞍馬口医療センター
- O-08-2 地域社会における高齢者虐待に対する高齢者もしくは家族への介入の  
文献レビュー  
宍戸 智子<sup>1)</sup>，佐藤 玲奈<sup>2)</sup>，長谷川 莉子<sup>2)</sup>，松永 篤志<sup>2)</sup>  
1) 東北大学医学部保健学科看護学専攻  
2) 東北大学大学院医学系研究科保健学専攻公衆衛生看護学分野
- O-08-3 アドバンスケアプランニングを実現するための一歩を考える  
ー地域活動における大学・福祉の連携から  
山本 晴美<sup>1)</sup>，松下 千保<sup>2)</sup>，小野 隆<sup>3)</sup>，田沼 寮子<sup>1)</sup>，玉城 紫乃<sup>1)</sup>  
1) 東都大学沼津ヒューマンケア学部 2) きせがわ地域包括支援センター  
3) 大岡地区社会福祉協議会

## 口演 第9群 看護管理・人材育成・キャリア支援3

座長：多喜代 健吾（弘前大学大学院）

- O-09-1 看護職が職場に求める働き方のニーズに関する質的記述的研究  
會田 彩乃<sup>1)</sup>，原 ゆかり<sup>2)</sup>，平山 英幸<sup>2)</sup>，伊藤 里美<sup>2)</sup>，大森 純子<sup>2)</sup>  
1) 東北大学医学部保健学科看護学専攻 2) 東北大学大学院医学系研究科



O-09-2 コロナ禍における市町村保健センターに所属する保健師のメンタルヘルスとレジリエンス、職業的アイデンティティおよび職務満足感との関連  
下村 ゆうき<sup>1)</sup>, 文 鐘聲<sup>2)</sup>

1) (元)畿央大学大学院健康科学研究科 2) 畿央大学大学院健康科学研究科

O-09-3◎ 未就学児を養育する女性看護職の仕事と育児を両立することによる心理的成長に関する横断的観察研究

中川 葵唯<sup>1)</sup>, 原 ゆかり<sup>1)</sup>, 松永 篤志<sup>1)</sup>, 中野 久美子<sup>1)</sup>, 岩本 萌<sup>1)</sup>, 津野 陽子<sup>2)</sup>, 大森 純子<sup>1)</sup>

1) 東北大学大学院医学系研究科 2) 埼玉県立大学健康開発学科

13:00~13:50 第2会場

口演 第10群 地域包括ケア・協働・連携／地域づくり・ソーシャルキャピタル

座長: 佐藤 太一 (千葉大学大学院)

O-10-1 地域・在宅看護論実習での地域住民との交流の場を設けることの意義

五十嵐 真理<sup>1)</sup>, 西山 和代<sup>1)</sup>, 橋本 有紀<sup>1)</sup>, 青山 恵介<sup>1)</sup>, 戸田 肇<sup>2)</sup>

1) 新潟薬科大学附属医療技術専門学校 2) 新潟薬科大学看護学部

O-10-2 就労支援を受ける生活保護利用者を対象とした「おきらく会」開催の意義と課題

谷山 牧<sup>1)</sup>, 保母 恵<sup>1)</sup>, 渡部 瑞穂<sup>1)</sup>, 岩上 さやか<sup>1)</sup>, 石村 珠美<sup>1)</sup>, 藤田 千春<sup>2)</sup>

1) 国際医療福祉大学小田原保健医療学部 2) 杏林大学保健学部

O-10-3 地域ケア個別会議の活用に対する居宅介護支援専門員の認識

加川 結花<sup>1)</sup>, 野尻 由香<sup>2)</sup>, 嶋津 多恵子<sup>2)</sup>, 山谷 麻由美<sup>2)</sup>

1) 八王子市健康医療部保健対策課 2) 国際医療福祉大学大学院

O-10-4 認知症を有する人との共生を目指した多様な主体の連携や協働に関する保健医療福祉職の研修二ーズ

鈴木 悟子<sup>1)</sup>, 石丸 美奈<sup>2)</sup>, 岩瀬 靖子<sup>2)</sup>, 佐藤 太一<sup>3)</sup>, 井口 紗織<sup>4)</sup>, 牛尾 裕子<sup>5)</sup>, 斎藤 美矢子<sup>5)</sup>, 村上 祐里香<sup>5)</sup>

1) 富山大学学術研究部医学系 2) 千葉大学大学院看護学研究院

3) 千葉大学国際高等研究基幹 4) 千葉大学運営基盤機構

5) 山口大学大学院医学系研究科保健学専攻

13:00~13:40 第4会場

口演 第11群 障害児・者支援

座長: 板谷 智也 (宮崎大学)

O-11-1 小児レスパイト入院を受け入れる看護師への半構造化面接による一考察

齋藤 香, 浮 宏子, 畑中 絵巳子

東部地域病院 看護部

O-11-2 保健師や医療機関と連携した医療的ケア児の在宅移行支援のスキームづくり～切れ目ない在宅移行支援を目指して佐賀県医療的ケア児支援センターの取り組み～

荒牧 順子, 山口 直子

佐賀県医療的ケア児支援センター (株式会社ドアーズ)

O-11-3 生活介護事業所における医療的ケア者受け入れの関連要因

橋本 憲祐<sup>1)</sup>, 長谷川 美香<sup>2)</sup>

1) 加賀市役所市民健康部地域包括支援センター

2) 福井大学医学系部門看護学領域看護学講座コミュニティ看護学

## 口演 第12群 精神保健・看護

座長：川崎 涼子（長崎大学大学院）

- O-12-1 パートナーが精神障がいを持つ夫婦の関係性の構築プロセス  
西谷 美理<sup>1)</sup>，蔭山 正子<sup>2)</sup>，前田 直<sup>3)</sup>  
1) 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 2) 大阪大学高等共創研究院  
3) 医療法人社団碧水会長谷川病院
- O-12-2◎ 被災者のこころのケア  
13年の関わりを通して支援者に伝えたいこと  
森 紘子  
前仙台市宮城野区保健福祉センター 障害高齢課
- O-12-3 コロナ禍における対人活動規制に伴い看護学部の新入生に生じたストレスとその  
対処行動  
阿部 日向子<sup>1)</sup>，石丸 美奈<sup>2)</sup>，佐藤 太一<sup>3)</sup>，岩瀬 靖子<sup>2)</sup>，坂井 文乃<sup>2)</sup>  
1) 前千葉大学看護学部看護学科 2) 千葉大学大学院看護学研究院  
3) 千葉大学国際高等研究基幹

## 口演 第13群 産業保健・職域保健／健康づくり・ヘルスプロモーション

座長：岩淵 光子（岩手医科大学）

- O-13-1 治療と仕事を両立する労働者への産業看護職による継続的な支援の実際  
吉川 悦子<sup>1)</sup>，安部 仁美<sup>2)</sup>  
1) 日本赤十字看護大学 看護学部 2) 湘南医療大学 保健医療学部
- O-13-2 労働世代における歯科検診の定期受診の関連要因  
二宮 杏珠<sup>1)</sup>，名越 恵美<sup>2)</sup>，河畑 匡法<sup>3)</sup>  
1) 岡山市 2) 岡山県立大学保健福祉学部看護学科 3) 川崎医療短期大学看護学科
- O-13-3 習慣的喫煙者における断煙成否の関連要因の検討  
無記名Webアンケートによる横断調査  
白谷 佳恵<sup>1)</sup>，嶋澤 順子<sup>1)</sup>，水谷 真由美<sup>2)</sup>  
1) 東京慈恵会医科大学大学院 2) 名古屋大学大学院
- O-13-4 特定保健指導の積極的支援対象者が行動変容に至った体験  
井上 恵里<sup>1)</sup>，木村 愛<sup>2)</sup>  
1) 武蔵野赤十字病院 2) 日本赤十字看護大学さいたま看護学部

## 口演 第14群 子育て支援・虐待予防

座長：坂東 志乃（宮城大学）

- O-14-1 担当保健師による全ての子育て家族への継続支援と母親の育児状況との関連  
ポピュレーションアプローチの効果  
横山 美江<sup>1)</sup>，緒方 靖恵<sup>2)</sup>，畑中 陽子<sup>3)</sup>，古荘 久実<sup>3)</sup>，金岡 節子<sup>3)</sup>，  
鈴木 仁枝<sup>3)</sup>  
1) 大阪公立大学大学院看護学研究科 2) 佛教大学保健医療技術学部看護学科  
3) 島田市健康づくり課

- O-14-2 育児中の母親の社会的孤立の要因に関する文献検討  
 笹木 ひとみ<sup>1)</sup>, 横山 美江<sup>2)</sup>  
 1) 大阪公立大学大学院看護学研究科博士後期課程  
 2) 大阪公立大学大学院看護学研究科
- O-14-3 子育て世代包括支援センターに従事する助産師の切れ目ない支援における支援内容  
 ～妊娠期から児が1歳頃迄の多職種連携に係る妊産婦等への支援内容～  
 三橋 寛子<sup>1)</sup>, 行田 智子<sup>2)</sup>, 大澤 真奈美<sup>2)</sup>  
 1) 前群馬県立県民健康科学大学大学院 看護学研究科 博士前期課程  
 2) 群馬県立県民健康科学大学大学院 看護学研究科
- O-14-4 虐待死亡検証報告にみる0歳16事例への自治体・保健師の対応課題  
 ～実装研究統合枠組みを用いた分析～  
 阿波屋 咲季, 岡本 玲子, 小出 恵子  
 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

15:00～15:50 第1会場

口演 第15群 健康危機管理

座長：堀池 諒（大阪医科薬科大学）

- O-15-1◎ 厳冬期災害時の避難所を想定した非常食に関する調査研究  
 鬼塚 美玲, 市戸 優人  
 札幌市立大学看護学部
- O-15-2 自主防災組織の活動に取り組む地域防災リーダーの防災哲学  
 佐藤 仁美, 松永 篤志, 大森 純子  
 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野
- O-15-3 令和6年能登半島地震の現地状況と活動報告  
 板谷 智也<sup>1)</sup>, 小島 路生<sup>2)</sup>, 田中 純一<sup>3)</sup>, 堀池 諒<sup>4)</sup>, 佐々木 亮平<sup>5)</sup>,  
 柴田 邦臣<sup>6)</sup>, 野口 晃<sup>7)</sup>, 平子 紘平<sup>8)</sup>, 佐無田 光<sup>9)</sup>, 中井 寿雄<sup>10)</sup>,  
 田中 健太郎<sup>11)</sup>, 高橋 裕太郎<sup>12)</sup>  
 1) 宮崎大学医学部看護学科 2) NGO Think Locally Act Globally  
 3) 北陸学院大学社会学部社会学科 4) 大阪医科薬科大学看護学部  
 5) 岩手医科大学全学教育推進機構教養教育センター  
 6) 津田塾大学学芸学部国際関係学科 7) かがやき在宅診療所  
 8) 金城大学総合経済学部総合経済学科 9) 金沢大学融合研究域融合科学系  
 10) 高知県立大学看護学部看護学科 11) 大阪公立大学大学院看護学研究科地域看護学  
 12) 金沢大学医薬保健研究域
- O-15-4 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行前後における独居高齢者の認識と  
 健康行動  
 平田 由紀<sup>1)</sup>, 真継 和子<sup>2)</sup>  
 1) 大阪医科薬科大学訪問看護ステーション 2) 大阪医科薬科大学看護学部



## 口演 第16群 健康づくり・ヘルスプロモーション

座長：成瀬 昂（SOMPO インスティテュートプラス株式会社）

- O-16-1 日本語版 Physical Activity Enjoyment Scale の成人を対象とした信頼性・妥当性の検証  
中川 恵津子<sup>1,2)</sup>  
1) 元甲南女子大学大学院看護学研究科博士前期課程  
2) 神戸市看護大学療養生活看護学領域在宅看護学分野
- O-16-2 米国アラスカ先住民に特徴的な健康の社会的決定要因(SDH)の検討  
中野 久美子<sup>1)</sup>, 佐藤 朱李<sup>2)</sup>, 岩本 萌<sup>1)</sup>, 大森 純子<sup>1)</sup>  
1) 東北大学大学院医学系研究科 2) 東北大学医学部保健学科看護学専攻
- O-16-3 地方在住前期高齢者が捉える主観的健康感の判断理由  
中嶋 一弥  
長野保健医療大学大学院保健学研究科
- O-16-4 医療健康情報連携プラットフォーム「リニエ ベイシス」の事業構想  
いつまでも健康を維持するための高齢者のヘルスリテラシー啓蒙事業の構想  
大田 義信  
事業構想大学院大学 事業構想研究科 事業構想専攻

## 口演 第17群 思春期保健・学校保健

座長：渥美 綾子（東北福祉大学）

- O-17-1 10代母親と家族の成長過程における ACE と PACE の影響  
—思春期・青年期の子を持つ母親へのインタビューから  
大川 聡子, 光井 朱美, 森田 理江, 海原 律子, 田中 規子, 堀内 寿美子  
関西医科大学看護学部
- O-17-2 離島中学生におけるヘルスリテラシー教育プログラムの効果  
健康教育と演劇ワークショップを活用したプログラム実施前後の評価  
當山 ちひろ, 田場 真由美  
名桜大学 人間健康学部 看護学科
- O-17-3 思春期の子どもをもつ親を対象とした家庭内性教育支援プログラムの有用性の評価  
市戸 優人  
札幌市立大学・看護学部



## 示説（動画オンデマンド発表）

### 示説 第1群 子育て支援・虐待予防

- P-01-1 育児相談において保健師が母親の日常的意思決定を支援するプロセス  
百武 ひとみ<sup>1)</sup>，麻原 きよみ<sup>2)</sup>  
1) 松戸市健康医療部 2) 大分県立看護科学大学
- P-01-2 熟練助産師が褥婦の困りごとに対するアドバイスをを行うために収集している情報～産後2週間健診で褥婦が意欲的な言動に繋がったと判断した例～  
下田 瑛紀，中島 梨奈，上村 麻優子，柴泉 富美子  
前橋赤十字病院
- P-01-3 乳幼児を持つ父親と母親におけるソーシャルネットワーキングサービスの利用と心理的苦痛の関連 育児不安感によるモデレーション効果  
大西 竜太  
富山県立大学看護学部
- P-01-4 看護職における妊産婦・乳幼児を持つ親に対するオンライン支援の実態  
新聞記事の分析より  
本田 順子<sup>1)</sup>，保木 みか<sup>2)</sup>  
1) 帝京科学大学医療科学部 2) 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科
- P-01-5 第1子の乳児を育てる父親のワーク・エンゲイジメントと仕事の資源との関連  
関 美雪，柴田 亜希，石崎 順子，伊草 綾香，丹野 祐美，黒澤 恭子  
埼玉県立大学保健医療福祉学部
- P-01-6 全国基礎自治体における父親への育児支援実施状況報告  
— 2020年度に実施した調査との比較 —  
高木 悦子<sup>1)</sup>，足立 安正<sup>2)</sup>，小崎 恭弘<sup>3)</sup>，阿川 勇太<sup>4)</sup>，丸山 佳代<sup>5)</sup>，  
竹原 健二<sup>6)</sup>  
1) 帝京科学大学医療科学部看護学科 2) 摂南大学看護学部  
3) 大阪教育大学健康安全教育系教育学部教員養成課程家政教育部門  
4) 大阪総合保育大学児童保育学部乳児保育学科  
5) 東京医科歯科大学 大学院 保健衛生学研究科  
6) 国立成育医療研究センター 政策科学研究部
- P-01-7 全国基礎自治体における父親への育児支援実施状況報告  
— 既存の母子保健事業で行われる父親支援の内容とその実施に必要なこと —  
足立 安正<sup>1)</sup>，高木 悦子<sup>2)</sup>  
1) 摂南大学看護学部 2) 帝京科学大学医療科学部
- P-01-8◎ 都市部在住の乳幼児を育てる母親における孤独感とソーシャルサポートの関連  
— サポート源とサポートニーズに着目して —  
有本 梓，伊藤 絵梨子，岩田 由香  
横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野
- P-01-9 母子健康手帳交付を受けた妊婦の満足感の実態とその関連  
手塚 美春，森鍵 祐子，赤間 由美  
山形大学医学部看護学科

- P-01-10 小学生の子を育てる母親の仕事と育児の両立に対する思い  
横田 紗希<sup>1)</sup>, 河野 史歩<sup>1)</sup>, 佐藤 晴香<sup>1)</sup>, 川口 愛佳<sup>1)</sup>, 森口 夏美<sup>1)</sup>,  
青柳 道子<sup>2)</sup>, 深川 周平<sup>2)</sup>  
1) 前札幌医科大学専攻科公衆衛生看護学専攻  
2) 札幌医科大学専攻科公衆衛生看護学専攻
- P-01-11 ヤングケアラーの実態と支援の課題に関する文献検討  
太田 尚子<sup>1)</sup>, 山上 順矢<sup>1)</sup>, 菊池 美智子<sup>1)</sup>, 楠山 大暁<sup>2)</sup>  
1) 青森中央学院大学看護学部 2) 青森中央学院大学経営法学部
- P-01-12 里親等委託率が高い自治体調査からみえた里親支援  
質問紙調査の自由記述の分析から  
富田 早苗<sup>1)</sup>, 石井 陽子<sup>1)</sup>, 池田 佐知子<sup>2)</sup>, 山本 茜<sup>3)</sup>  
1) 川崎医療福祉大学保健看護学部保健看護学科 2) 西九州大学看護学部看護学科  
3) 川崎医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科
- P-01-13 幼稚園を拠点としたソーシャルキャピタルの醸成に関する一考察  
首都圏郊外にあるニュータウンエリアの A 地区の例を通して  
三森 寧子<sup>1)</sup>, 多胡 ことね<sup>2)</sup>, 田口 敦子<sup>2)</sup>  
1) 千葉大学教育学部 2) 慶應義塾大学 看護医療学部

## 示説 第 2 群 思春期保健・学校保健

- P-02-1 小学校における保健室登校児への養護教諭の活動  
国内文献レビュー  
山本 真実  
浜松医科大学医学部看護学科
- P-02-2 心の健康問題をもつ学齢期の若者を対象とした地域保健と学校保健の連携による支援  
－養護教諭が認識する支援の現状と課題－  
間戸 美恵<sup>1)</sup>, 塚崎 恵子<sup>2)</sup>, 上原 美子<sup>3)</sup>, 黒岩 あゆみ<sup>4)</sup>  
1) 桐生大学医療保健学部 2) 金沢大学保健学系  
3) 埼玉県立大学保健医療福祉学部 4) 高崎健康福祉大学保健医療学部
- P-02-3 AYA 世代がんサバイバーを支援する養護教諭の調整  
名越 恵美<sup>1)</sup>, 犬飼 智子<sup>2)</sup>, 村上 日和<sup>3)</sup>, 松本 啓子<sup>4)</sup>  
1) 岡山県立大学保健福祉学部 2) 川崎医療福祉大学保健看護学部  
3) 国立がん研究センター中央病院 4) 香川大学医学部
- P-02-4 工学系高専生と協働した性教育アプリ開発のためのアイデア創出ワークショップ  
高橋 佐和子<sup>1)</sup>, 伊藤 純子<sup>2)</sup>, 都築 啓太<sup>3)</sup>, 池山 敦<sup>4)</sup>, 榎本 貴志<sup>3)</sup>,  
木之本 奈美<sup>3)</sup>  
1) 神奈川県立保健福祉大学 看護学科 2) 静岡県立大学 看護学部  
3) 豊田工業高等専門学校 4) 皇学館大学

## 示説 第 3 群 健康づくり・ヘルスプロモーション／産業保健・職域保健

- P-03-1 都市部の団地居住者における食生活・食行動の問題の認識とその関連要因  
岸下 洗一郎<sup>1)</sup>, 大澤 まどか<sup>2)</sup>, 赤塚 永貴<sup>2)</sup>, 吉田 裕美<sup>2)</sup>, 田口 敦子<sup>2)</sup>,  
伊藤 貴子<sup>3)</sup>, 岩瀬 牧子<sup>3)</sup>, 小澤 直美<sup>3)</sup>, 永田 幸子<sup>3)</sup>, 梶川 美月<sup>3)</sup>,  
中澤 寛美<sup>3)</sup>, 門脇 由美<sup>3)</sup>, 齋藤 修身<sup>3)</sup>  
1) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科 2) 慶應義塾大学看護医療学部  
3) 横浜市栄福祉保健センター福祉保健課

- P-03-2 定年退職後のシニア世代におけるヘルスプロモーション行動尺度原案の内容妥当性と表面妥当性の検証  
山埜 ふみ恵<sup>1)</sup>, 三木 明子<sup>2)</sup>  
1) 大阪医科薬科大学看護学部、関西医科大学大学院看護学研究科博士後期課程  
2) 関西医科大学看護学部・看護学研究科
- P-03-3 ハンチントン病と遺伝に関する文献的考察—地域看護の視点から—  
野正 佳余<sup>1)</sup>, 横山 美江<sup>2)</sup>  
1) 大阪公立大学大学院看護学研究科先進ケア科学領域ヘルスプロモーションケア科学博士後期課程  
2) 大阪公立大学大学院看護学研究科先進ケア科学領域ヘルスプロモーションケア科学
- P-03-4 20-30代就労男性の機会大量飲酒(Heavy episodic drinking)に関する研究  
HEDの頻度と動機および場面に着目して  
岡田 ゆみ<sup>1)</sup>, 樋口 富枝<sup>2)</sup>, 麻生 浩司<sup>1)</sup>  
1) 県立広島大学保健福祉学部 2) 無所属
- P-03-5 空腹時血糖が正常高値を示した一般事務職のA氏の予防意識と保健行動に関する研究  
目黒 優子<sup>1)</sup>, 中村 勝<sup>2)</sup>, 長澤 寮<sup>3)</sup>  
1) 長岡崇徳大学看護学部看護学科 2) 新潟大学大学院保健学研究科  
3) 新潟大学医学部保健学科
- P-03-6 産業保健師の仕事と介護の両立支援に関する経験  
中堅期保健師1名へのインタビュー調査からの検討  
田邊 綾子  
宮崎大学医学部

## 示説 第4群 高齢者保健・介護予防

- P-04-1 地域在住高齢者のeスポーツ体験における効果検証(第1報)  
嶋 雅奈恵<sup>1)</sup>, 米澤 洋美<sup>1)</sup>, 塚田 久恵<sup>1)</sup>, 室野 奈緒子<sup>1)</sup>, 金子 紀子<sup>1)</sup>, 石原 亜美<sup>1)</sup>, 角谷 美幸<sup>1)</sup>, 寺田 恵理<sup>1)</sup>, 西 紅羽<sup>1)</sup>, 橋本 千愛<sup>1)</sup>, 橋本 知佳<sup>1)</sup>, 宮下 春菜<sup>1)</sup>, 峰松 健夫<sup>1)</sup>, 高松 楓佳<sup>1)</sup>, 野村 風花<sup>1)</sup>, 野口 博史<sup>2)</sup>, 内藤 泰男<sup>3)</sup>, 井上 貴雄<sup>3)</sup>, 上田 将也<sup>3)</sup>, 上野 慶太<sup>3)</sup>, 石井 良平<sup>3,4)</sup>  
1) 石川県立看護大学看護学部 2) 大阪公立大学大学院工学研究科電気電子系専攻  
3) 大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科  
4) 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室
- P-04-2 地域在住高齢者のeスポーツ体験における効果検証(第2報)  
—ストレスへの影響について—  
室野 奈緒子<sup>1)</sup>, 塚田 久恵<sup>1)</sup>, 米澤 洋美<sup>1)</sup>, 嶋 雅奈恵<sup>1)</sup>, 金子 紀子<sup>1)</sup>, 石原 亜美<sup>1)</sup>, 角谷 美幸<sup>1)</sup>, 寺田 恵理<sup>1)</sup>, 西 紅羽<sup>1)</sup>, 橋本 千愛<sup>1)</sup>, 橋本 知佳<sup>1)</sup>, 宮下 春菜<sup>1)</sup>, 峰松 健夫<sup>1)</sup>, 高松 楓佳<sup>1)</sup>, 野村 風花<sup>1)</sup>, 野口 博史<sup>2)</sup>, 内藤 泰男<sup>3)</sup>, 井上 貴雄<sup>3)</sup>, 上田 将也<sup>3)</sup>, 上野 慶太<sup>3)</sup>, 石井 良平<sup>3,4)</sup>  
1) 石川県立看護大学看護学部 2) 大阪公立大学大学院工学研究科電気電子系専攻  
3) 大阪公立大学大学院リハビリテーション学研究科  
4) 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室
- P-04-3 住民主体の通いの場に携わる住民協力者の活動に伴う認識と思い  
佐藤 紀子, 雨宮 有子, 細谷 紀子, 杉本 健太郎, 松浦 めぐみ  
千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科

P-04-4◎ シニア向けオンライン運動プログラムの社会実装に向けた段階的な取り組みの報告  
大西 真衣, 野田 隆行, 川上 諒子, 兵頭 和樹, 山口 大輔, 西田 純世,  
甲斐 裕子, 荒尾 孝  
公益財団法人明治安田厚生事業団体力医学研究所

P-04-5 首都圏郊外団地に暮らす超高齢者のレジリエンスとその関連要因:横断研究  
赤塚 永貴<sup>1)</sup>, 大澤 まどか<sup>1)</sup>, 吉田 裕美<sup>1)</sup>, 岸下 洸一朗<sup>2)</sup>, 田口 敦子<sup>1)</sup>,  
伊藤 貴子<sup>3)</sup>, 岩瀬 牧子<sup>3)</sup>, 小澤 直美<sup>3)</sup>, 永田 幸子<sup>3)</sup>, 梶川 美月<sup>3)</sup>,  
中澤 寛美<sup>3)</sup>, 門脇 由美<sup>3)</sup>, 齋藤 修身<sup>3)</sup>  
1) 慶應義塾大学看護医療学部 2) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科  
3) 横浜市栄福祉保健センター福祉保健課

## 示説 第5群 精神保健・看護

P-05-1 Social ecological model からみる若者の『生きづらさ』の構造  
—インタビューの分析—  
今松 友紀<sup>1)</sup>, 有本 梓<sup>1)</sup>, 小林 由美子<sup>1)</sup>, 三宮 柁名<sup>1)</sup>, 佐藤 みほ<sup>2)</sup>  
1) 横浜市立大学大学院医学研究科 地域看護学分野  
2) 横浜市立大学大学院医学研究科 基礎看護学分野

P-05-2 長期入院を経験した精神障害者の地域生活継続における課題と今後の生活への  
思い  
桜井 円香<sup>1)</sup>, 成田 太一<sup>2)</sup>, 石田 真由美<sup>3)</sup>, 清水 智嘉<sup>4)</sup>, 小林 恵子<sup>5)</sup>  
1) 前新潟大学医学部保健学科 2) 新潟大学大学院保健学研究科  
3) 新潟青陵大学看護学部 4) 山梨県立大学看護学部  
5) 佐久大学大学院看護学研究科

P-05-3 地域で暮らす精神障害者を支援する保健師と看護師の連携に関する研究の動向  
と今後の課題  
中村 郁美<sup>1)</sup>, 霜山 薫<sup>2)</sup>  
1) 群馬県立県民健康科学大学看護学研究科博士後期課程  
2) 西武文理大学看護学部看護学科

## 示説 第6群 障害児・者支援

P-06-1 発達支援担当保健師が捉えた発達障害児者と家族支援の課題  
ペアレントメンターとの協働を視野に入れて  
西嶋 真理子<sup>1)</sup>, 柴 珠実<sup>1)</sup>, 仲野 由香利<sup>2)</sup>, 増田 裕美<sup>3)</sup>  
1) 愛媛大学大学院医学系研究科 2) 聖カタリナ大学短期大学部  
3) 聖カタリナ大学看護学部

P-06-2 医療的ケア児の保護者から見た行政保健師の支援内容  
石川 志麻<sup>1)</sup>, 藤田 美江<sup>2)</sup>  
1) 慶應義塾大学看護医療学部 2) 創価大学看護学部

P-06-3 侵襲的人工呼吸器装着 ALS 患者の COVID19 感染流行期を含む 14 年間の  
心理的状态の変化と関連要因に関する縦断的研究  
平野 優子  
慶應義塾大学看護医療学部



## 示説 第7群 在宅ケア・在宅移行支援

- P-07-1 訪問看護師による高齢介護者への支援に関する文献研究  
本郷 貴士<sup>1)</sup>, 門倉 康恵<sup>1)</sup>, 森永 裕美子<sup>2)</sup>  
1) 吉備国際大学 看護学部看護学科 2) 岡山県立大学 保健福祉学部看護学科
- P-07-2 独居高齢者の在宅復帰に影響するキーパーソンの思い  
自宅に帰るためにどのような困難を乗り越えているか  
早川 杏奈, 大口 亜希奈  
飯山赤十字病院 医療社会事業部
- P-07-3 急性期から在宅医療へ多職種連携したシームレスな心不全診療における看護師としての活動  
平口 幸歩, 石川 美保  
公立学校共済組合 四国中央病院・看護部
- P-07-4 訪問看護開始後 1 ヶ月以内に死亡した終末期がん在宅療養者の在宅死希望実現に向けた訪問看護師の支援  
常俊 千絵<sup>1,2)</sup>, 長谷川 美香<sup>3)</sup>  
1) 福井大学大学院医学系研究科 修士課程 看護学専攻  
2) 福井光包括支援センター  
3) 福井大学学術研究院医学系部門 コミュニティ看護学

## 示説 第8群 地域組織活動・グループ支援

- P-08-1 都市部在住高齢者における「通いの場」参加の効果と活動継続に向けた課題  
ー活動参加者の視点からー  
伊藤 絵梨子, 岩田 由香, 後藤 直子, 有本 梓  
横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野
- P-08-2 子育て世代が担い手として住民組織活動に参加する要因と体験  
:首都圏郊外のニュータウンでの質的研究  
田口 敦子<sup>1)</sup>, 多胡 ことね<sup>1)</sup>, 三森 寧子<sup>2)</sup>, 赤塚 永貴<sup>1)</sup>, 大澤 まどか<sup>1)</sup>  
1) 慶應義塾大学看護医療学部 2) 千葉大学教育学部
- P-08-3 感染症流行下において子どもの居場所の継続に資する要因  
藤村 保志花<sup>1)</sup>, 神宮 梓<sup>2)</sup>, 辻 よしみ<sup>1)</sup>, 植原 千明<sup>1)</sup>  
1) 香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科 2) 香川大学医学部附属病院
- P-08-4 組織化された共同社会の努力を住民とともに実現するための看護専門職の  
支援内容の特徴  
城 諒子  
富山大学学術研究部医学系地域看護
- P-08-5 保健師の自助グループ・住民組織支援のガイドライン項目案の検討  
植村 直子<sup>1)</sup>, 宮崎 美砂子<sup>2)</sup>  
1) 東邦大学健康科学部 2) 千葉大学大学院 看護学研究院 地域創成看護学講座



## 示説 第9群 地域包括ケア・協働・連携

- P-09-1 A 保健所管内における精神科長期入院患者の地域移行促進に関する研究  
重富 勇<sup>1)</sup>, 阿野 忍<sup>2)</sup>, 太田 希<sup>2)</sup>, 石丸 夕貴<sup>2)</sup>, 川上 綾子<sup>2)</sup>  
1) 長崎県立大学看護栄養学部 2) 長崎県西彼保健所
- P-09-2 退院支援部門に所属する看護師の退院支援実践力、ストレスが職業的アイデンティティに与える影響  
前野 綾子<sup>1)</sup>, 文 聲鐘<sup>2)</sup>  
1) coconara 巽クリニック 2) 畿央大学
- P-09-3 都市部における互助機能評価尺度の開発  
互助を促す支援者が評価する互助機能  
井口 理<sup>1)</sup>, 佐藤 太地<sup>1)</sup>, 池田 晋平<sup>2)</sup>, 山岸 貴子<sup>3)</sup>, 石田 千絵<sup>1)</sup>  
1) 日本赤十字看護大学看護学部 2) 東京工科大学医療保健学部  
3) 東北文化学園大学医療福祉学部

## 示説 第10群 地域づくり・ソーシャルキャピタル

- P-10-1 子ども食堂運営における課題および利用する貧困家庭に向けた食育方法の検討  
新田 美優<sup>1)</sup>, 永嶺 仁美<sup>2)</sup>  
1) 東京大学医学附属病院看護部 2) 和洋女子大学看護学部
- P-10-2 野宿生活の長期化に影響を与える野宿生活者の経験  
—跡継ぎを期待されたA氏の語りから—  
白井 裕子  
愛知医科大学看護学部
- P-10-3 市町村の生活保護担当課に配置された保健師が重視する支援  
田村 須賀子<sup>1)</sup>, 安田 貴恵子<sup>2)</sup>, 酒井 久美子<sup>2)</sup>, 山崎 洋子<sup>3)</sup>  
1) 富山大学学術研究部医学系 2) 長野県看護大学看護学部  
3) 元(前)健康科学大学看護学部

## 示説 第11群 健康危機管理

- P-11-1 マスクの原則着用緩和後の看護学生におけるマスク着用動機とマスク着用行動に関連する要因  
富岡 莉彩, 田島 藍子, 中村 泉結, 森木 絵理, 和田 陽花, 駒田 真由子  
東京医療保健大学東が丘看護学部
- P-11-2 WebGIS を用いた能登半島地震における保健師活動支援マップの作成  
堀池 諒<sup>1)</sup>, 青崎 聖花<sup>2)</sup>, 小松 清か<sup>3)</sup>, 二宮 遥<sup>4)</sup>, 川井 ゆう<sup>5)</sup>,  
松本 若菜<sup>6)</sup>, 板谷 智也<sup>7)</sup>, 佐々木 亮平<sup>8)</sup>, 中井 寿雄<sup>9)</sup>, 田中 健太郎<sup>10)</sup>,  
高橋 裕太郎<sup>11)</sup>  
1) 大阪医科薬科大学看護学部公衆衛生看護学分野  
2) JICA 海外協力隊(2023年度3次隊ガーナ) 3) 大阪市住之江区役所保健福祉課  
4) 大阪市生野区役所保健福祉課 5) 兵庫県立尼崎総合医療センター  
6) 堺市健康福祉局 7) 宮崎大学医学部看護学科  
8) 岩手医科大学全学教育推進機構教養教育センター 9) 高知県立大学看護学部  
10) 大阪公立大学大学院看護学研究科地域看護学  
11) 金沢大学医薬保健研究域保健学系

- P-12-1 A市内で勤務する介護支援専門員のジョブ・クラフティングの実態  
 菊池 真弓<sup>1)</sup>、吉田 和樹<sup>1)</sup>、照井 稔宏<sup>2)</sup>、井出 浩一<sup>3)</sup>、黒田 美香<sup>1)</sup>、  
 いわき市 主任介護支援専門員チーム<sup>4)</sup>、鎌田 真理子<sup>5)</sup>  
 1) 医療創生大学看護学部看護学科 2) 福島県立医科大学 3) 岩手県  
 4) いわき市主任介護支援専門員チーム 5) 医療創生大学心理学部臨床心理学科
- P-12-2 ADQ(Approaches to Dementia Questionnaire)インドネシア語版の  
 信頼性・妥当性の検討  
 WoroMustika Weni<sup>1)</sup>、清水 恵<sup>1)</sup>、安藤 千晶<sup>2)</sup>、尾崎 章子<sup>1)</sup>  
 1) 東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 老年・在宅看護学分野  
 2) 東京都健康長寿医療センター研究所 認知症未来社会創造センター
- P-12-3 派遣保健師の市町村での活動内容と得たこと  
 伊丹 幸子、山崎 洋子  
 健康科学大学 看護学部
- P-12-4 コロナ禍に就職した新潟県内の新任期保健師が経験した実践内容と現任教育体制  
 成田 太一<sup>1)</sup>、佐藤 美由紀<sup>1)</sup>、井上 智代<sup>1)</sup>、室岡 真樹<sup>2)</sup>、細道 奈穂子<sup>3)</sup>、  
 今村 円香<sup>4)</sup>、山下 優子<sup>1)</sup>、高橋 昌也<sup>4)</sup>、帆苺 久美<sup>4)</sup>  
 1) 新潟大学大学院保健学研究科 2) 新潟県長岡地域振興局  
 3) 新潟市医師会地域医療推進室 4) 新潟県福祉保健部
- P-12-5 新潟県行政機関における新任期保健師の現任教育体制と離職  
 県保健所と市町村の比較  
 佐藤 美由紀<sup>1)</sup>、成田 太一<sup>1)</sup>、井上 智代<sup>1)</sup>、室岡 真樹<sup>2)</sup>、細道 奈穂子<sup>3)</sup>、  
 今村 円香<sup>4)</sup>、山下 優子<sup>1)</sup>、高橋 昌也<sup>1)</sup>、帆苺 久美<sup>4)</sup>  
 1) 新潟大学大学院保健学研究科 2) 新潟県長岡地域振興局  
 3) 新潟市医師会地域医療推進室 4) 新潟県福祉保健部
- P-12-6 中堅前期保健師研修会のアンケート評価に基づく効果の検証  
 細谷 紀子<sup>1)</sup>、山崎 由佳<sup>2)</sup>、川崎 由紀<sup>2)</sup>、福田 浩子<sup>3)</sup>  
 1) 千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科 2) 千葉県健康福祉部健康づくり支援課  
 3) 元千葉県健康福祉部健康づくり支援課
- P-12-7 統括保健師の人材育成・人事管理に関する評価項目の検討  
 佐藤 美樹<sup>1)</sup>、吉岡 京子<sup>2)</sup>、塩見 美抄<sup>3)</sup>、細谷 紀子<sup>4)</sup>、藤井 仁<sup>5)</sup>、  
 茂木 りほ<sup>1)</sup>、本田 千可子<sup>2)</sup>、松本 博成<sup>2)</sup>、角川 由香<sup>6)</sup>、平和也<sup>3)</sup>、  
 三浦 貴大<sup>7)</sup>  
 1) 国立保健医療科学院生涯健康研究部  
 2) 東京大学大学院医学系研究科健康科学看護学専攻地域看護学分野  
 3) 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻地域健康創造看護学  
 4) 千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科 5) 目白大学看護学部看護学科  
 6) 東京大学大学院医学系研究科健康科学看護学専攻高齢者在宅長期ケア看護学分野  
 7) 国立研究開発法人産業技術総合研究所人間拡張研究センター共創場デザイン研究チーム
- P-12-8 自治体のリーダー保健師の組織マネジメントに関する育成研修の効果評価  
 杉田 由加里<sup>1)</sup>、田中 美延里<sup>2)</sup>、米増 直美<sup>3)</sup>、小野 志保<sup>4)</sup>、栗原 美香<sup>4)</sup>、  
 森 絵美<sup>4)</sup>  
 1) 千葉大学大学院看護学研究院 2) 愛媛県立医療技術大学保健科学部  
 3) 岐阜県立看護大学 4) 愛媛県保健福祉部社会福祉医療局医療対策課

## 示説 第13群 看護教育

- P-13-1 中堅・熟練訪問看護師を対象とした「地域・在宅看護」教育に対するニーズ調査  
藤原 弥生<sup>1)</sup>，藤澤 純子<sup>1)</sup>，松岡 真紀子<sup>2)</sup>  
1) 岩手医科大学看護学部地域包括ケア講座  
2) 前岩手医科大学看護学部地域包括ケア講座
- P-13-2 事例や状況を用いた看護実践の教育手法の動向  
日本の学士課程看護専門科目の教室内プログラムの文献調査より  
牛尾 裕子<sup>1)</sup>，斎藤 美矢子<sup>1)</sup>，村上 祐里香<sup>1)</sup>，田村 須賀子<sup>2)</sup>，城 諒子<sup>2)</sup>，  
嶋澤 順子<sup>3)</sup>，大澤 真奈美<sup>4)</sup>，佐藤 紀子<sup>5)</sup>，沖林 洋平<sup>6)</sup>  
1) 山口大学大学院医学系研究科 2) 富山大学学術研究部医学系  
3) 東京慈恵会医科大学医学部 4) 群馬県立県民健康科学大学看護学部  
5) 千葉県立保健医療大学健康科学部 6) 山口大学教育学部
- P-13-3 公衆衛生看護学実習における事例検討会での学生の学び  
植原 千明，藤村 保志花，辻 よしみ  
香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科
- P-13-4 実習を通し公衆衛生看護の理解をもたらす経験  
村上 祐里香<sup>1)</sup>，牛尾 裕子<sup>1)</sup>，田村 須賀子<sup>2)</sup>，嶋澤 順子<sup>3)</sup>，大澤 真奈美<sup>4)</sup>，  
城 諒子<sup>2)</sup>，佐藤 紀子<sup>5)</sup>，斎藤 美矢子<sup>1)</sup>，沖林 洋平<sup>6)</sup>  
1) 山口大学大学院医学系研究科 2) 富山大学学術研究部医学系  
3) 東京慈恵会医科大学医学部 4) 群馬県立県民健康科学大学看護学部  
5) 千葉県立保健医療大学健康科学部 6) 山口大学教育学部
- P-13-5 COVID-19の影響下における保健師学生の卒業時の到達度による教育評価  
地域の健康課題の明確化と計画・立案する能力に着目して  
柴田 亜希，石崎 順子，丹野 祐美，伊草 綾香，関 美雪，服部 真理子，  
黒澤 恭子  
埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科



# 協賛一覧 (五十音順、敬称略)

## オンデマンド共催セミナー

---

イオンライフ株式会社  
大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカルズ事業部東北支店  
東北大学災害科学国際研究所

## プログラム集広告

---

株式会社医学書院	医歯薬出版株式会社
医療法人桑友会佐藤裕也眼科医院	有限会社社会保険実務研究所
中央法規出版株式会社	株式会社メヂカルフレンド社
ユサコ株式会社	株式会社ワールドプランニング

## バナー広告・幕間広告

---

株式会社エピグノ	エルゼビア・ジャパン株式会社
宮城大学他共催「価値検証フィールドワーク・プログラム」	
地域保健	はらクリニック
株式会社 MEETUP STOCK	

## 寄付

---

伊藤 康史	フリーランス栄養士 川崎洋子
医療法人桑友会佐藤裕也眼科医院	株式会社 DSG
匿名希望	ユサコ株式会社
株式会社ユピア	

## 助成

---

公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団	公益財団法人仙台観光国際協会
--------------------	----------------

## 協力

---

丸善仙台アエル店

(2024年6月7日現在)

学術集会の開催にあたり、皆様から多大なるご支援を賜りました。  
謹んで御礼申し上げます。

日本地域看護学会第27回学術集会  
学術集会長 大森 純子  
副学術集会長 浦山 美輪



## 日本地域看護学会 第27回学術集会 委員一覧

### 学術集会長

大森 純子 東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野

### 副学術集会長

浦山 美輪 東北大学病院看護部看護管理室

### 企画運営委員 (五十音順)

江角 伸吾	宮城大学看護学群地域看護学領域
尾崎 章子	東北大学大学院医学系研究科老年・在宅看護学分野
小澤 涼子	天使大学看護栄養学部看護学科
北宮 千秋	弘前大学大学院保健学研究科看護学領域
今野 浩之	山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科
佐藤 清湖	仙台青葉学院短期大学看護学科
佐野 ゆり	仙台市健康福祉局保健衛生部健康政策課
塩野 悦子	東北福祉大学健康科学部保健看護学科
下山田 鮎美	東北福祉大学健康科学部保健看護学科
杉内 美佐子	医療法人社団愛生会昭和病院
高橋 和子	宮城大学看護学群在宅看護学領域
畑山 明美	仙台市宮城野区保健福祉センター家庭健康課
日向 園恵	日本赤十字社石巻赤十字病院看護部
森田 誠子	日本赤十字秋田看護大学看護学部

### 事務局・委員 (順不同)

松永 篤志	東北大学大学院医学系研究科公衆衛生看護学分野
中野 久美子	同上
原 ゆかり	同上
岩本 萌	同上
松野 あやえ	同上
江川 優子	同上

雑誌

# 訪問看護と介護のご案内



「在宅」の時代、暮らしを支える訪問看護師に、情報とパワーをお届けします。  
ケアに関わる情報はもちろん、「気になるあの人/あのステーションがやっていること」  
を皆さんに代わって編集室が取材。明日の仕事に活かせるヒントが見つかります。

● 隔月刊(奇数月)、年6冊

通常号定価：1,650円  
(本体1,500円+税10%)

★電子版もございます/記事単位でのご購入も可能です

● 年間購読

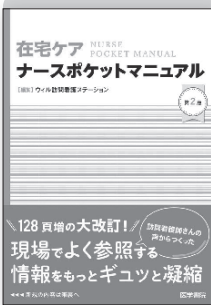
冊子 9,636円(本体8,760円+税10%)

電子 9,636円(本体8,760円+税10%)

電子+冊子 12,936円(本体11,760円+税10%)



在宅の現場でよく参照する情報をこの1冊に“もっと”ギュッと凝縮!



## 在宅ケア NURSE POCKET MANUAL ナースポケットマニュアル 第2版

編集 ウィル訪問看護ステーション

● A6 2024年 頁392 定価：2,200円(本体2,000円+税10%) [ISBN978-4-260-05333-4]



問題解決から希望実現へ。訪問看護実践を可視化する「希望実現モデル」誕生!



## 訪問看護師による在宅療養生活支援を可視化する 希望実現モデル

編著 川村佐和子

● A5 2024年 頁224 定価：3,300円(本体3,000円+税10%) [ISBN978-4-260-05337-2]



頻繁に参照する情報をその場ですぐに確認できる。コンパクトなのに即戦力となる一冊



## ナース NURSE POCKET MANUAL ポケットマニュアル 第2版

編集 北里大学病院看護部

● A6変型 頁148 2024年 定価：1,650円(本体1,500円+税10%) [ISBN978-4-260-05437-9]



実はそこまで難しくない! エコーへの苦手意識を克服できる本



## フィジカルアセスメントに活かす 看護のための はじめてのエコー

編集 藤井徹也/野々山孝志

● B5 頁164 2023年 定価：3,300円(本体3,000円+税10%) [ISBN978-4-260-05011-1]





# 医歯薬出版 好評関連書のご案内

## 理論と実践の融合をめざす！ 公衆衛生看護学テキストシリーズ(全4巻)

### ① 公衆衛生看護学原論 第2版

責任編集 麻原きよみ  
定価 3,080円(本体 2,800円+税10%)  
B5判 176頁 ISBN978-4-263-23804-2

### ② 公衆衛生看護の方法と技術 第2版

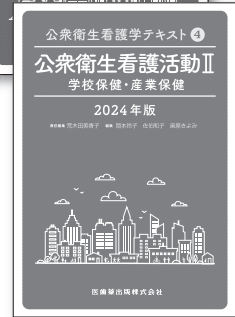
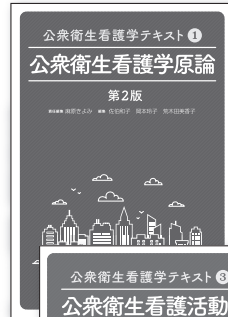
責任編集 佐伯和子  
定価 4,400円(本体 4,000円+税10%)  
B5判 292頁 ISBN978-4-263-23805-9

### ③ 公衆衛生看護活動Ⅰ 第2版

責任編集 岡本玲子  
定価 3,850円(本体 3,500円+税10%)  
B5判 248頁 ISBN978-4-263-23806-6

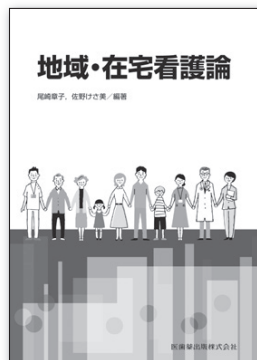
### ④ 公衆衛生看護活動Ⅱ 2024年版 学校保健・産業保健

責任編集 荒木田美香子  
定価 4,400円(本体 4,000円+税10%)  
B5判 324頁 ISBN978-4-263-71063-0



## 地域・在宅看護論

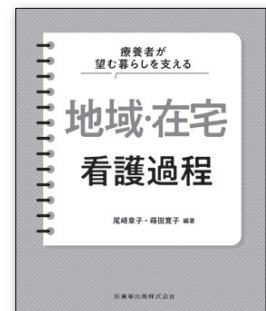
尾崎章子・佐野けさ美・  
苛原志保・西崎未和・  
其田貴美枝 編著  
B5判 352頁  
定価 3,740円  
(本体 3,400円+税10%)  
ISBN978-4-263-23757-1



『新版 在宅看護論』が、新カリキュラムに対応して改訂・改題！在宅看護のコアと地域包括ケア時代への対応力が身につくテキスト。

## 療養者が望む暮らしを支える 地域・在宅看護過程

尾崎章子・  
蒔田寛子 編著  
AB判 128頁  
定価 2,750円  
(本体 2,500円+税10%)  
ISBN978-4-263-23775-5

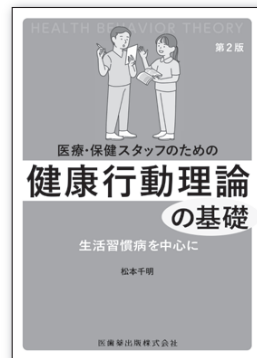


地域・在宅看護ならではの視点を統合した、本書独自のアセスメント枠組みで看護過程を展開。演習・実習に活用できるテキスト！

## 医療・保健スタッフのための 健康行動理論の基礎 第2版

—生活習慣病を中心に—

松本千明 著  
B5判 112頁  
定価 2,090円  
(本体 1,900円+税10%)  
ISBN978-4-263-71068-5



医療・保健分野の行動変容を理論に基づき解説する好評書の改訂版。ランダム化比較試験を中心とした最新のエビデンスに一新。

## 医療・保健スタッフのための 健康行動理論 実践編 第2版

—生活習慣病の予防と治療のために—

松本千明 著  
B5判 96頁  
定価 2,090円  
(本体 1,900円+税10%)  
ISBN978-4-263-71069-2



医療・保健分野の行動変容を理論に基づき解説する好評書の改訂版。実践編では健康行動理論の医療現場への応用方法を解説。



医歯薬出版株式会社  
https://www.ishiyaku.co.jp/

〒113-8612 東京都文京区本駒込 1-7-10  
TEL03-5395-7610 FAX03-5395-7611



IPW を基軸にした地域の包括的支援とは  
いかにあるべきかを探る…？

新発売!!

# 地域共生社会をつくる

多職種連携・協働のあり方とは

● 編 著 ●

大塚真理子 (長野県看護大学・学長)

木戸 宜子 (日本社会事業大学専門職大学院・教授)

鶴岡 浩樹 (日本社会事業大学専門職大学院・教授)

本書は、コロナ禍後のわが国の地域共生社会の実現  
に向けて、医師・看護師・介護士・社会福祉士等の医  
療関係者がいかに多職種連携・協働を図るべきかを解説  
したわが国唯一の手引書です!!

A5判, 156 ページ  
定価: 2,400 円+税



株式会社 ワールドプランニング  
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1  
E-mail: wp-office@worldpl.co.jp

TEL :03-5206-7431  
FAX :03-5206-7757

https://worldpl.co.jp

# 質的研究・定性データ分析をするなら

# NVIVO

NVivoは誕生から40年近い歴史を持つ、質的データ分析支援ソフトウェアです。

オーストラリア・ニュージーランドの全大学、イギリスの約80%の大学で機関導入されるなどの実績があり、世界150か国以上・150万人以上のユーザーが使用しています。世界中の研究機関、数多くの質的研究・混合研究法の論文で使用されている、現代の質的研究には欠かせないソフトウェアです。

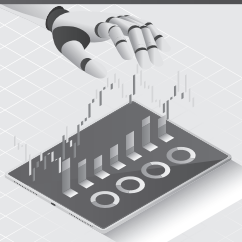
## 例えば、質的研究のこんなお悩みに最適です



文字起こしやコーディングの際の諸作業を効率化したい



収集した質的データをもっと深く分析したい



研究・コードの客観性や妥当性を向上させたい

NVivoを利用することで、のりやハサミを使った伝統的な紙のカード作成、大量のコピーと付箋作業、表計算ソフトやワープロソフトを使った煩雑な作業から解放されます。

インタビュー分析やアンケートの分析の際の余計な作業がなくなり、データと向かい合う時間を作り出すことができます。NVivoを導入して、より研究に集中することができる環境を作りましょう。

## NVivoで質的データ分析の煩雑な作業を効率化

データの一元管理

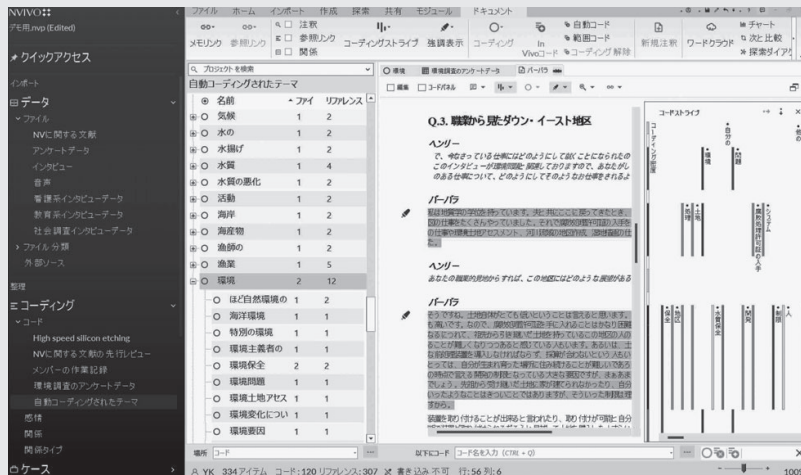
音声・動画の文字起こし

データのコーディング(断片化)

データの可視化

分析結果の出力と共有

NVivoは様々な形式のデータを一元管理できます。さらに、音声・画像データの文字起こしからコーディング(断片化)、分析、データの可視化までスムーズに行えます。あなたの研究の作業効率の向上、質の向上をサポートします。



名前	ファイル	リアランス
〇 僕の家	2	2
〇 開発	3	3
〇 開発の影響を抑える	1	1
〇 開発計画	1	1
〇 開発手法を語る	1	1
〇 自然エネルギー	0	0
〇 太陽光エネルギー開発	1	1
〇 ソーラーパネル	0	0
〇 設置における環境への懸念	0	0
〇 風力エネルギー開発	1	1
〇 地域の観光開発	1	1
〇 土地開発がもたらすもの	1	1
〇 土地開発の姿	1	2
〇 環境	8	26
〇 イーストの自然環境	1	1

▲コーディングの階層化が可能なので、類似のコーディングをまとめてカテゴリを作るのも簡単です。

▲様々な形式で取り込んだ質的データのコーディングが可能です。まるで紙を切り分けるように、PC上で文章を直感的にセグメント化できます。コーディングの階層化も簡単で、整理もスムーズに行えます。コーディングした部分の元データへはワンクリックで簡単に戻れます。また、コーディング済みのコンテンツは、コーディングストライプとハイライト表示で一目瞭然です。

専任スタッフのサポートが付いているので慣れない方でも安心。  
まずは14日間無料トライアル!

NVivo トライアル

検索



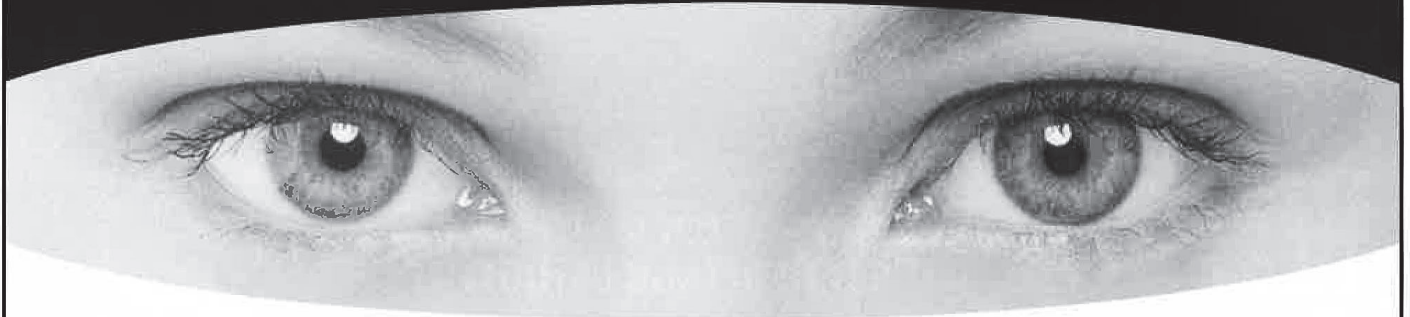
【国内代理店】

**ユサコ株式会社**

E-mail: shop@usaco.co.jp

http://www.usaco.co.jp/

# 快適な視生活をおくるために。



## ●レーザーによる近視・乱視矯正手術 レーシック・ラセック

近視・乱視矯正手術はレーザーを角膜に照射し、角膜の形状(カーブ)を変化させ、焦点を網膜上で合わせることによって近視・乱視を矯正します。視力は翌日から回復し、ほとんどの方が眼鏡やコンタクトレンズの必要がなくなります。



## ●日帰り・入院いずれも健康保険の対象 白内障手術

当院では、82年より白内障手術を開始しました。現在も県内外から来院され、年間1,000眼以上の手術を施行いたしております。日帰り手術も可能です。



医療法人 桑友会

日本眼科学会認定眼科専門医

お問い合わせ・資料のご請求は イッツバシ レーシック



# 佐藤裕也眼科医院

# 0120-584-049

YUYA SATOH

仙台市青葉区五橋1-6-23 <http://www.sendai-lasik.jp>



# 新体系 看護学全書

## 地域・在宅看護論

編集 河野あゆみ

大阪公立大学看護学部地域包括ケア科学分野教授

◎436頁 B5判

◎定価 3,520円(3,200円+税)

◎ISBN 978-4-8392-3383-9

◎第6版 2021年刊行

Webセミナー動画・シラバス案  
無料公開中



株式会社  
メヂカルフレンド社

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-4

マーケティング部 TEL(03)3263-7666 FAX(03)3261-6602

医師・看護師のための

## 認知症プライマリケア まるごとガイド

最新知識に基づく  
ステージアプローチ

2024年  
4月刊行!



- 平原佐斗司、内田直樹、遠矢純一郎=編著
- 定価 4,620円(税込) ●B5判・480頁
- 2024年4月発行 ISBN978-4-8243-0022-5

疾患別の解説のほか、認知症高齢者の経過における「軽度」「中等度」「重度」「末期」の各ステージで医療専門職が行うべき対応を整理した。認知症のプライマリケアに必要な知識を網羅的に解説する一冊。

看護判断のための気づきとアセスメント

## 地域・在宅看護



- 岸 恵美子、大木幸子=編集
- 定価 3,300円(税込) ●B5判・330頁
- 2022年2月発行 ISBN978-4-8058-8433-1

エビデンスに基づいた看護計画につなげるための「アセスメント力(臨床判断)」を高めるシリーズ。対象者理解の中心となる健康・生活・環境のアセスメントについて解説。事例ではワークと読み解くポイントを示し、演習・実習時にも活用できる。

実習指導者・教員のための

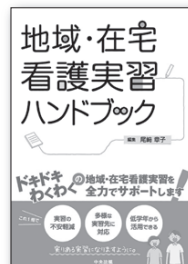
## 地域・在宅看護 実習指導ガイドブック



- 一般社団法人全国訪問看護事業協会=監修/尾崎章子=編集
- 定価 2,860円(税込) B5判・212頁
- 2023年9月発行 ISBN978-4-8058-8938-1

実習施設と教育機関が、実習の目的を共有して行う実習計画や指導のあり方、評価方法などの具体的な進め方、昨今の学生とのかかわり方などを紹介。臨床実践能力を養い、地域で活躍できる人材を育てる視点をまとめた一冊。

## 地域・在宅 看護実習ハンドブック



- 尾崎章子=編集
- 定価 2,200円(税込) ●B5判・186頁
- 2021年12月発行 ISBN978-4-8058-8389-1

地域・在宅看護実習のテキスト。実習先となる多様な場での看護を紹介し、マナーや心構え、実習で学んでほしいポイントをまとめた。また、学生が困りがちな内容もQ&Aで収載し、実習前や実習後にも活用できる一冊。2022年4月からの新カリに対応。

中央法規  
Chuohoki Publishing Co., Ltd.

〒110-0016 東京都台東区台東 3-29-1

<https://www.chuohoki.co.jp/>

TEL.03-6387-3196

中央法規 オンラインショップ  
e-books

中央法規 オンラインショップ  
<https://www.chuohoki.jp/>

健康づくりを担う全ての方々必携の専門週刊誌

# 週刊保健衛生ニュース

昭和53年創刊、40年以上にわたって関係者に支持される実績と信頼性を誇ります！

保健・医療・福祉関係者相互のパイプ役として、健康づくりの第一線で活躍されている全国の保健師をはじめ、市町村等の医療保険者、研究機関、健診実施機関、学校・教育機関等の皆様に幅広いご支持をいただいている雑誌です。

国と地方自治体の健康づくりを中心に、日頃の業務に必要な細かな情報から制度改正など大きな流れまで、専門誌ならではの情報を幅広くフォローし、通知、資料、解説なども豊富に掲載した貴重な情報源として皆様のお役に立ちます。

★ホームページで最新号の目次をチェックできます！

## ご購入のお申し込み

ご購入のお申し込みは下記ホームページの「ご購入のお問合せ」にお名前、E-mailアドレス等をご入力の上、送信していただければお申込に必要なフォームをE-mailにて返信させていただきます。ホームページをご覧になれない場合は、FAXにてお申込用紙を送らせていただきます。E-mailかFAXでお問い合わせください。

ホームページ <https://www.shahojitumu.co.jp>

全国の市町村、保健所をはじめ実務担当者に幅広く読まれている専門誌です！

個人購読も可能です。ぜひ、日頃のお仕事にお役立て下さい！

年間購読料（令和6年度価格 / 送料・税込）

¥40,800-（後払・定価）

¥36,600-（前払・割引価格）

毎週月曜日発行 / B5判・40～64頁

※書店では販売しておりません。当社直販とさせていただきます。

※ご購入は毎年自動更新とさせていただきます。

ご購入の中止、お届け先の変更の際はご連絡をいただく必要があります。

## (有) 社会保険実務研究所

E-mail [info@shahojitumu.co.jp](mailto:info@shahojitumu.co.jp) FAX 03-3253-7836

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-32 NSビル6階

### 後 援

宮城県 仙台市 宮城県市長会 宮城県町村会  
公益社団法人 宮城県看護協会 宮城県訪問看護ステーション連絡協議会  
一般社団法人 宮城県助産師会 全国保健師長会宮城県支部  
社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会 特定非営利活動法人 宮城県ケアマネジャー協会  
一般社団法人 宮城県社会福祉士会 宮城県地域包括・在宅介護支援センター協議会  
仙台市地域包括支援センター連絡協議会 一般社団法人 全国訪問看護事業協会

### 助 成

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団  
公益財団法人 仙台観光国際協会

## 日本地域看護学会 第27回学術集会

2024年 6月 発行

日本地域看護学会 第27回学術集会 事務局  
東北大学大学院医学系研究科 公衆衛生看護学分野

〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1

運営事務局（株式会社ユピア） jachn27@yupia.net



学術集会 Webサイト <https://jachn27.yupia.net/>